

# 事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立富士特別支援学校

# 目 次

□□□□□□	事務事業の概要	・ ・ ・ ・ ・	1
□□□□□□	事務執行の根拠法令調	・ ・ ・ ・ ・	40
□□□□□□	学校施設の概要	・ ・ ・ ・ ・	41
□□□□□□	在籍児童生徒調	・ ・ ・ ・ ・	44
□□□□□□	入学志願者及び入学者数調	・ ・ ・ ・ ・	46
□□□□□□	卒業生の動向調	・ ・ ・ ・ ・	48
□□□□□□	生徒の状況	・ ・ ・ ・ ・	49
□□□□□□	特別支援学校における生産物売払調	・ ・ ・ ・ ・	53
□□□□□□	預金調	・ ・ ・ ・ ・	55
□□□□□□	郵券等受払調	・ ・ ・ ・ ・	55
□□□□□□	材料品受払調	・ ・ ・ ・ ・	56
□□□□□□	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	・ ・ ・ ・ ・	57
□□□□□□	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	・ ・ ・ ・ ・	57
□□□□□□	委託料に関する調	・ ・ ・ ・ ・	58
□□□□□□	負担金支出調	・ ・ ・ ・ ・	63
□□□□□□	建築工事調	・ ・ ・ ・ ・	64
□□□□□□	公有財産調	・ ・ ・ ・ ・	66
□□□□□□	借地借家等調	・ ・ ・ ・ ・	67
□□□□□□	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	・ ・ ・ ・ ・	68
□□□□□□	行政財産貸付・使用許可調	・ ・ ・ ・ ・	69
□□□□□□	主要備品調	・ ・ ・ ・ ・	70
□□□□□□	職員調	・ ・ ・ ・ ・	71
□□□□□□	職員の年齢調	・ ・ ・ ・ ・	80
□□□□□□	健康管理	・ ・ ・ ・ ・	81

## 事務事業の概要

### I 概況

#### (1) 学校の沿革

##### <本校>

平成元年	4月1日	富士地区新設養護学校設立準備委員長、委員2人発令
	12月13日	11月県議会で設置条例議決 校名を「静岡県立富士養護学校」と決定
平成2年	3月16日	南棟校舎完成
	4月1日	静岡県立富士養護学校開校
	4月7日	開校式及び小学部・中学部入学式挙 小学部73人 中学部54人 訪問教育12人 計139人
	7月31日	北棟、中棟校舎完成
平成3年	1月31日	プール完成
	3月8日	体育館完成
	4月1日	高等部認可開設
平成4年	4月1日	文部省から「社会の変化に対応した新しい学校運営等に関する調査研 究協力校」の指定(2年継続)
平成6年	3月20日	南棟エレベーター設置
	4月1日	文部省「特殊教育実験学校(職業教育に関する研究)」の指定(3年継続)
平成9年	4月1日	高等部肢体重複学級認可
平成12年	1月30日	創立10周年記念学習発表会 創立10周年記念誌発行
	4月1日	高等部訪問教育認可
平成16年	4月1日	高等部知的重複学級認可
	6月25日	富士地区就業促進協議会発足
平成19年	6月19日	富士地区障害児(者)支援連携協議会発足
平成20年	4月1日	校名を「静岡県立富士特別支援学校」に改正
平成21年	3月23日	新棟校舎完成
平成22年	2月23日	創立20周年記念式典 創立20周年記念誌発行
令和2年	12月5日	創立30周年記念授業公開 創立30周年記念コンサート 創立30周年記念誌発行

##### <富士宮分校>

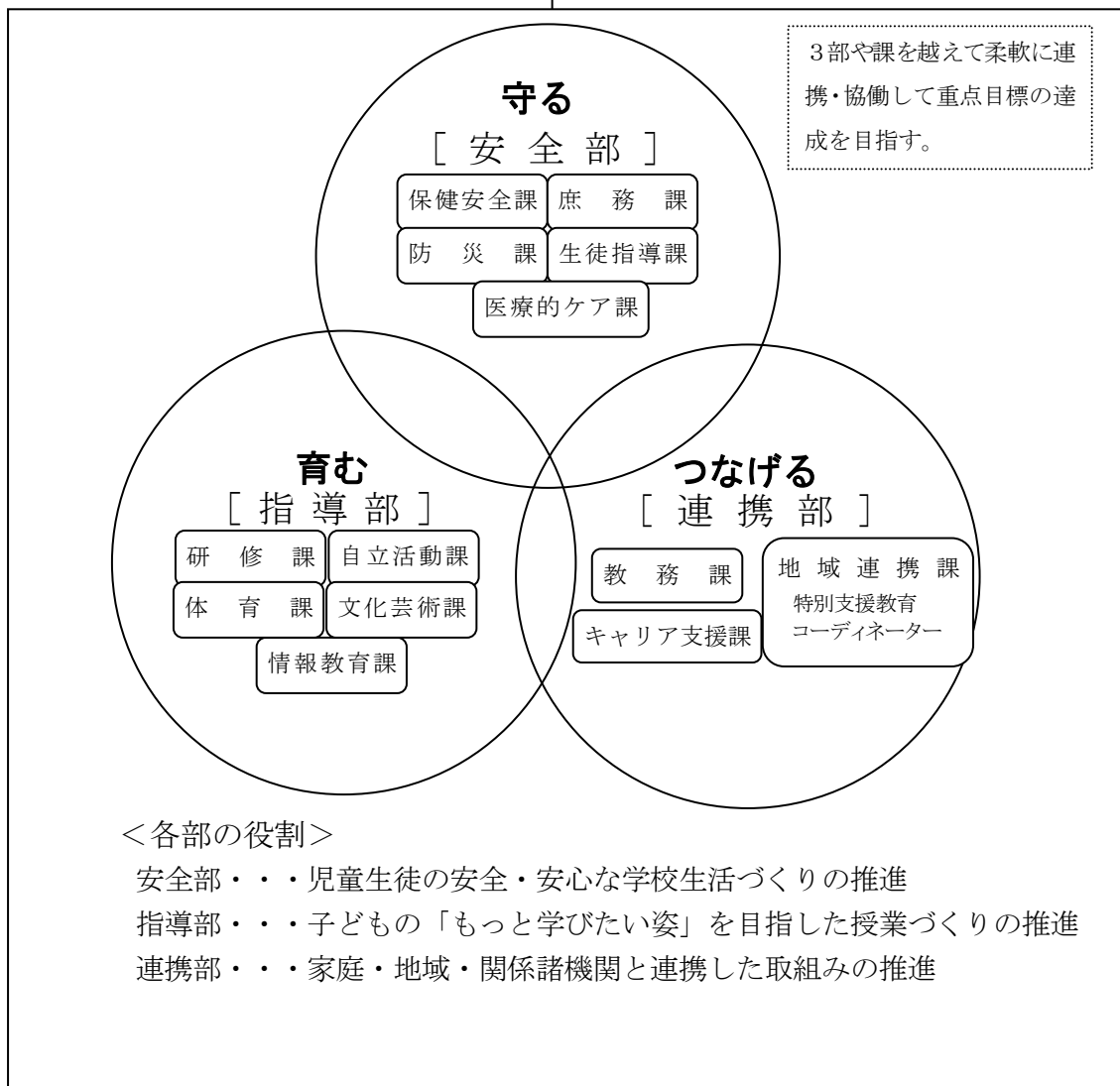
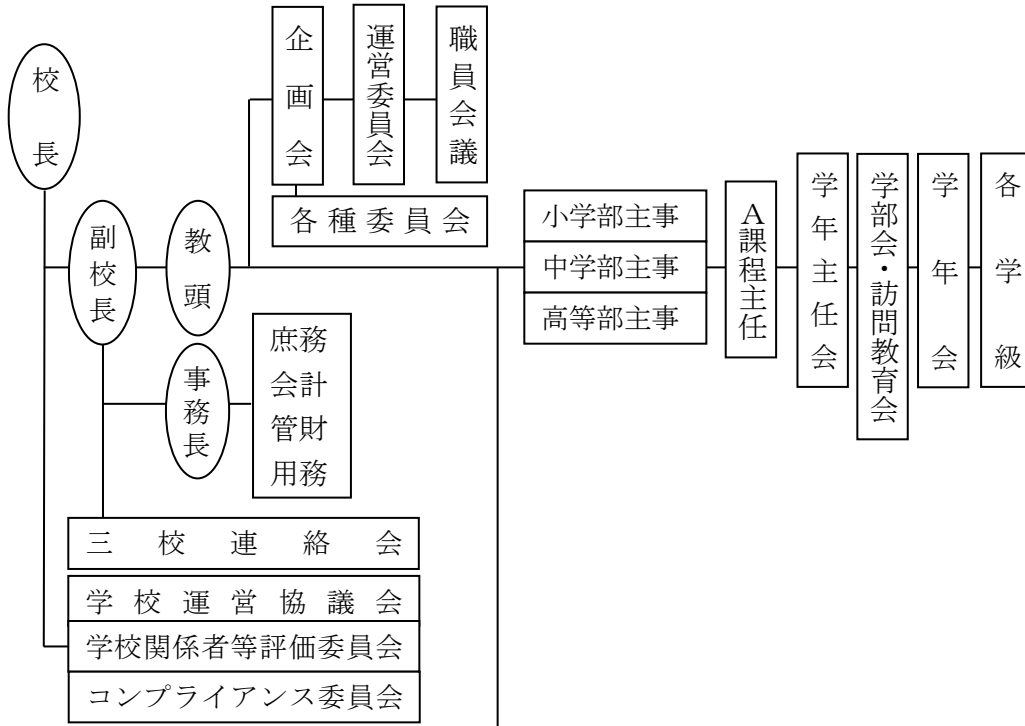
平成22年	4月1日	高等部分校設置準備委員長、委員6人発令
平成23年	3月9日	富士宮分校校舎完成
	4月1日	富士宮分校開校
	4月7日	富士宮分校開校式及び入学式挙
令和3年	11月19日	学校環境緑化完成記念式典「10周年記念宮分プロジェクト」

##### <富士東分校>

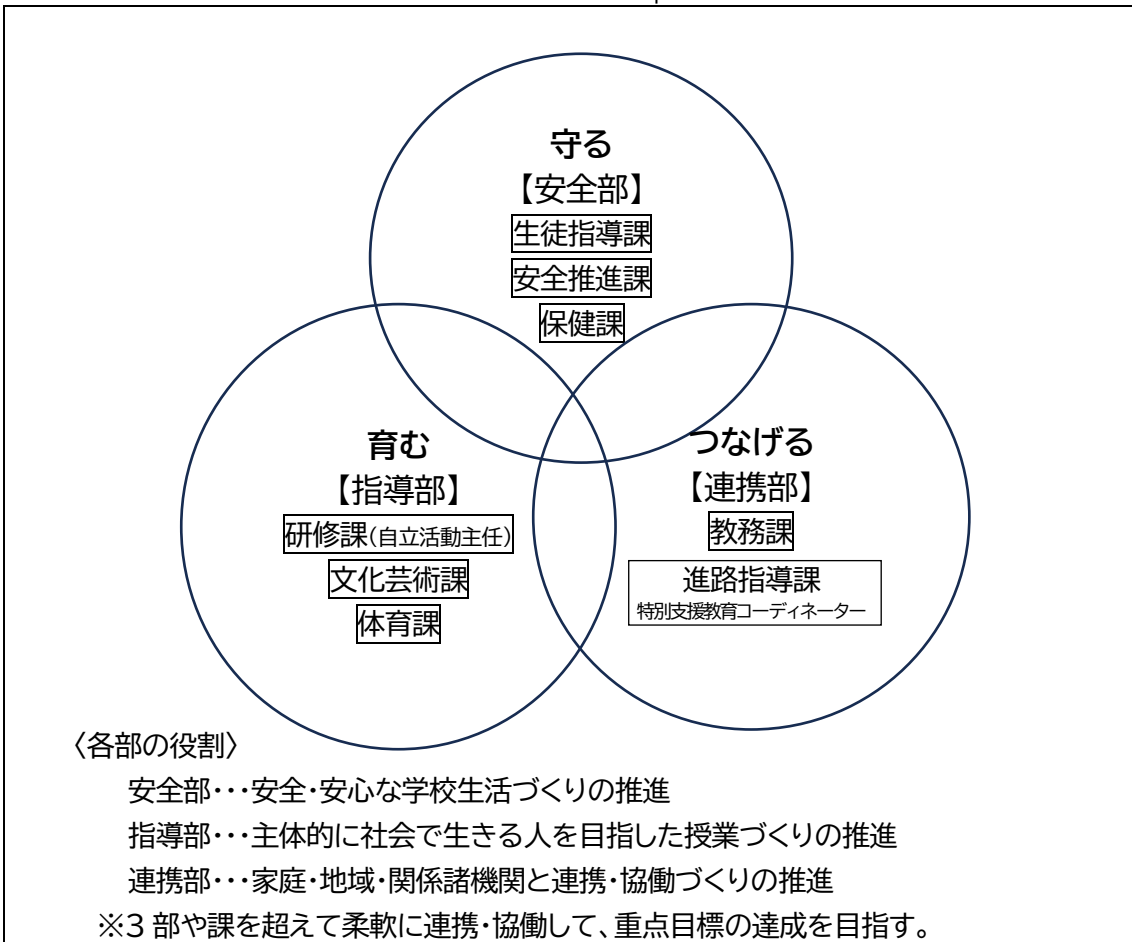
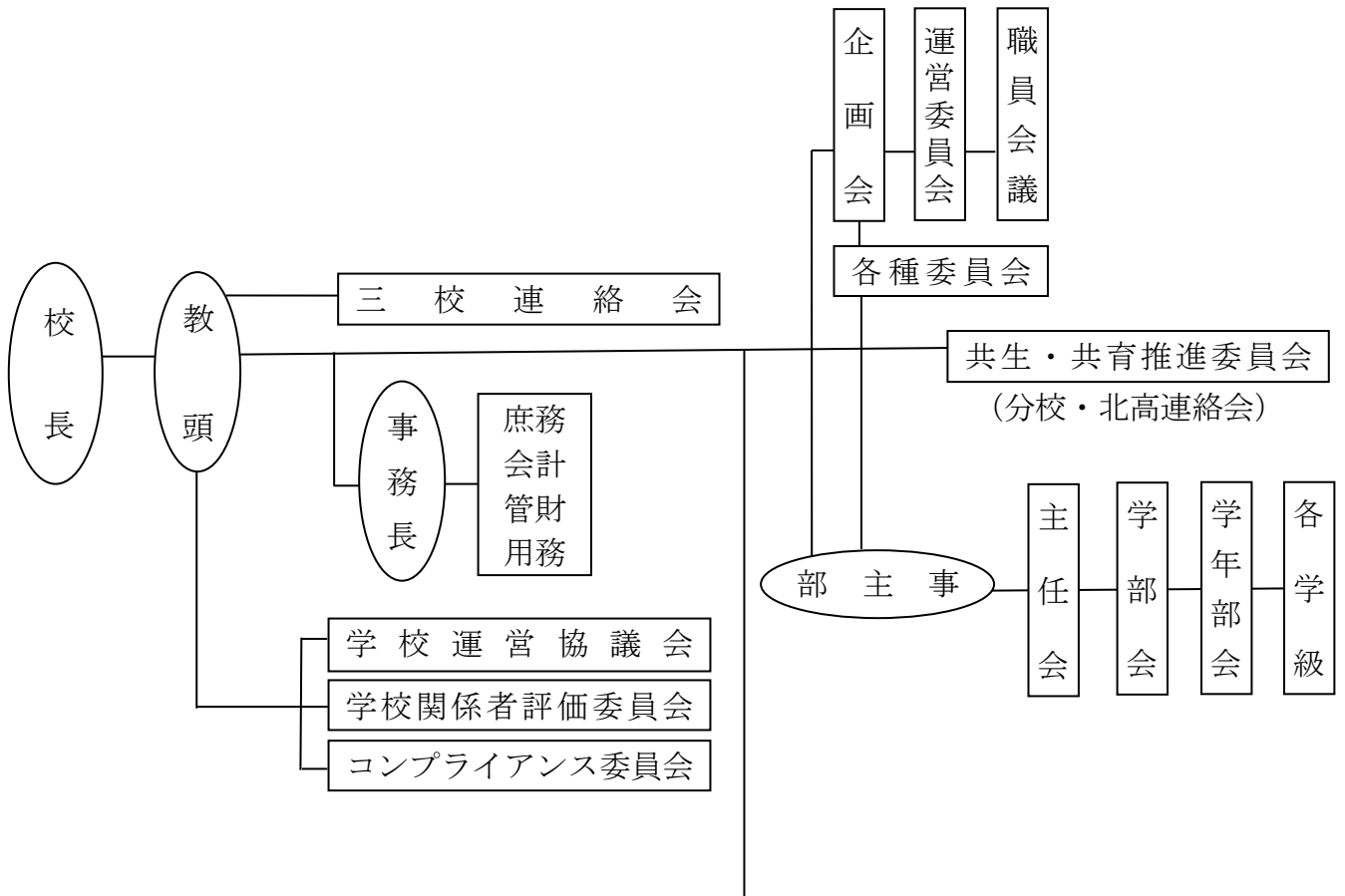
令和4年	4月21日	高等部分校設置準備委員長、委員7人発令
令和5年	4月1日	富士東分校開校
	4月11日	富士東分校開校式及び入学式挙

(2) 組織図

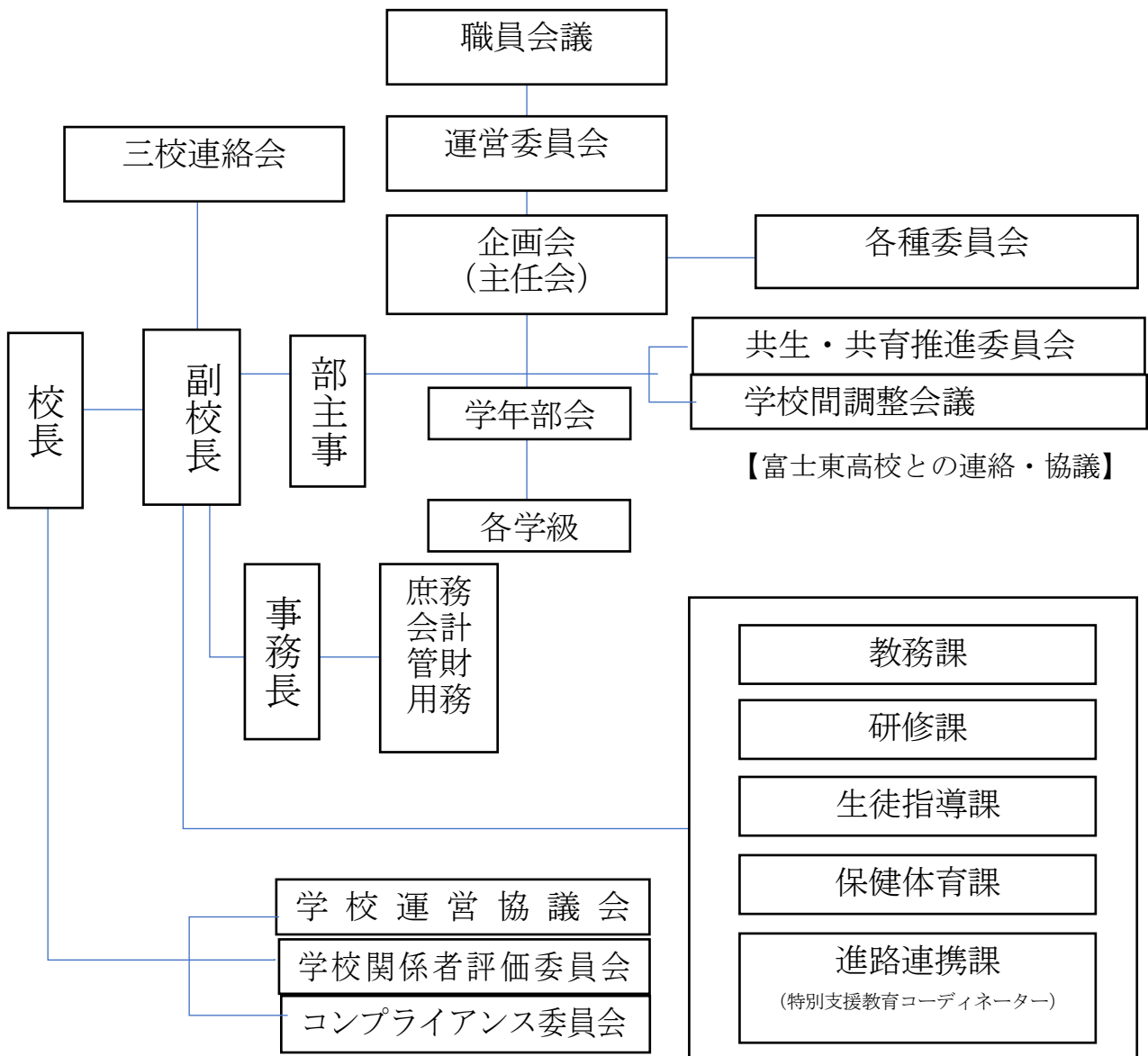
<本校>



<富士宮分校>



<富士東分校>



## 2 目指す学校像

### <本校>

#### 1 教育目標

「富士に向かってはばたく、たくましく生きる人」を育てる

#### 2 目標具現化の柱

ア【守る】安心・安全な学校づくり

イ【育む】子どもの「もっと学びたい姿」を目指した授業づくり

ウ【つなげる】家庭・地域・関係諸機関との連携づくり

### <富士宮分校>

#### 1 教育目標

「富士に向かってはばたく、たくましく生きる人」を育てる

#### 2 分校教育目標

「地域の一員として、主体的に社会で生きる人」を育てる

#### 3 目標具現化の柱

ア【守る】安心・安全な学校生活づくりの推進

イ【育む】「主体的に社会で生きる人」を目指した授業づくりの推進

ウ【つなげる】家庭・地域・関係諸機関と連携・協働した取組の推進

### <富士東分校>

#### 1 教育目標

「富士に向かってはばたく たくましく生きる人」を育てる

#### 2 分校教育目標

「良さを磨き 共に学び 社会で協働する人」を育てる

#### 3 目標具現化の柱

ア【守る】安心・安全な学校づくり

イ【育む】「社会で協働する人」を目指した授業づくり

ウ【つなげる】家庭・富士東高等学校・地域・関係諸機関との連携づくり

## 3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 6年度の取組目標への評価及び成果と課題（重点目標はゴシック体で記載）

### <本校>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア 守 る	安心・安全な教育環境をつくる	・児童生徒が安心して学校生活を送ることができている。	・人権学習会の実施 ・人権目標を周知し、児童生徒が安心できる状況づくりについて学年やグループで考えた。	A	・人権に関する取り組みを行ったことで、人権感覚を向上させることができた。 ・児童生徒には啓蒙することができたが、教師に対する意識づけにももっと取り組みたい。
		・感染症を広げない衛生的な環境を保っている。	・健康観察表や保健カードによる児童生徒の健康状態を把握 ・感染症の流行状況の	A	・学校内外で流行している感染症や対策等を掲示板で周知した。感染症を広げないための基本的な対策を講じた。 ・基本的な予防対策を実行できるよう

		<p>周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策への周知</li> </ul>		<p>に共有する。衛生的な環境を保てる方策(取組)を考え、共有していきたい。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な医療的ケアの実施により、授業に切れ目なく参加することができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で安心な医ケア実施の下、教員、看護師共に学習活動の充実を考えて医ケアに従事することで、児童生徒が必要に応じてケアを受けながら授業に参加することができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者付き添い依頼がほぼ無くなったことで都合欠席が減り、児童生徒の授業への参加が保障された。</li> <li>・今年度は、校内体制の関係で校外学習への看護師同行ができず全て保護者依頼となった。それにより、校外学習に参加できないケア生が出てしまった。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が児童生徒の事故を減らすための行動をとっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保安課・防災課と連携し、環境整備に努めた。</li> <li>・児童生徒が使用する場所の安全点検を毎月実施した。</li> <li>・ヒヤリハットの実施と共有(学部・学年)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックリストを使用し、点検箇所を明確にして確実な点検ができた。</li> <li>・学年単位でのヒヤリハット研修の実施をすることで、身近な事象に関する共有ができ、対応など検討、再確認することができた。</li> <li>・安全点検からの修繕では対応が遅くなってしまうため、改善が必要な箇所については、気づいた教職員が修繕依頼を出すように周知していく。防災の観点からチェックリストの項目について再検討していく。</li> <li>・自分事として捉える、危機意識を高める、事故防止に努める為に継続してヒヤリハットに関する共有を行い、学部会などでも事故リスク軽減するための共有も行う。</li> <li>・環境整備面より事故に繋がらないよう、他の課と相談しながら整備をする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の個人情報適切に管理されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Notesの個人情報外部持ち出し簿が浸透した。持ち出す際には必ず記入するようになった。記入後の手続きの流れを徹底したい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データでの記入により、持ち出し状況を管理職や情報教育課長が、素早く確認することができるようになった。</li> <li>・無事故のクラスは、どのような配慮をしているのか確認・検討し、同じようなやり方を行うなど共有する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が自分の命を守るための行動をとることができている。</li> <li>・教職員が発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時における体制訓練の実施、掲示板にて訓練後の反省を全体へ共有(後期1回)</li> <li>・福祉避難所開設訓練実施後の反省を生かし、</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の指示を聞いたり、災害に応じた避難の仕方をしたりする等、落ち着いて行動することができた。</li> <li>・事前事後の指導や防災教育を通し、防災意識を高めることができた。</li> <li>命を守るための行動をとることができ</li> </ul>

		<p>災時に取るべき行動を具体的に想定している。</p>	<p>災害時のケア一覧表を作成したことで、医ケア生の 24 時間のケアの様子が分かりやすくなった。</p>	<p>るように、児童生徒にとって分かりやすい動画やイラスト等を提示していく。</p>
		<p>・様々な緊急事態を未然に防ぐ行動や、発生時に教職員に求められる行動を理解している。</p>	<p>・搜索や防犯、交通安全に関する注意喚起をして、年間通して事故を未然に防ぐことができた。 ・医ケア代表者会にて、ヒヤリハットに関する情報を共有し、各学年に持ち帰ることができている。また、医ケア緊急体制訓練、リスクマネジメント研修を行い、想定される緊急事態とその対応方法を共通理解した。</p>	<p>A</p> <p>・開設訓練に取り組んだことで、災害時にどのような行動を取ることが良いか考える教職員が増えた。 ・医ケア生の防災用物品と一覧表とがリンクしていることの確認。 ・より自分事として捉えることができるように、普段から対応についての周知を呼びかける。 ・訓練では医ケア生が学校に残る設定ではなかったため、発災時の教員・看護師の動きを確認することができていない。</p>
イ 育 む	豊かな心と健康な体を育む	<p>・児童生徒が相手の思いを受け止めたり、適切な方法で表出したりできている。</p>	<p>・道徳に関する書籍の購入と職員室への展示。 ・各学部で読書週間時におすすめ本紹介。 ・外部・保護者ボランティアによる読み聞かせ活動や本の修繕。</p>	<p>・事故や事件につながる危険性を理解して危機管理をすることができた。 ・ヒヤリハットの対応について共有する中、他学年や異なる立場から建設的な意見を出し合うことができた。 ・様々な想定(場所、少人数での対応等)をした訓練をすることで、対応の見直しや訓練時に気付いたこと等を共通理解することができた。 ・緊急体制訓練が細かく立案されていると、シナリオ通りに行われがちとなる。指示役等必要最低限の役割のみ決めておき、指示役がその場で振る役割に臨機応変に対応できる訓練をする。 ・訓練の内容(シナリオ、役割の明確化等)訓練の在り方について工夫が必要と感じる。訓練実施後の反省の報告と共有の工夫をしたい。 ・緊急時における初期対応を共有する場を設けていきたい。</p>
		<p>・児童生徒が、個々に合った方法で自他の</p>	<p>・食育に関する掲示、情報発信 ・食に関する指導の全体</p>	<p>A</p> <p>・学部・学年で保健に関する授業実践や日頃の指導に養護教諭と連携しながら取り組んだ。性教育のみならず、健</p>

	<p>身体を大切に する行動をとっ ている。</p>	<p>計画の作成、見直し、活 用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健に関する授業の紹 介と教材の充実</li> <li>・保健の授業を通じて、 けが防止や取るべき行 動、パーソナルスペース やプライベートゾーンな ど学習を進めた。</li> <li>・実践例を掲示板に載 せ、全体に周知すること ができた。</li> </ul>	<p>康に関する学習、怪我等を取り上げて 実践した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育に関するアンケートを実施し、健 康な身体へ（食に興味を持てる）と繋 がるように教材の活用、栄養教諭との 食育体験をした。また、実際の場面を 想定した内容を構成し、自分たちで対 応できるよう実践を多く取り入れた。</li> <li>・各学部での授業の様子が分かるよ う、写真や動画を多く取り入れたこと で、授業の参考にし、実態に応じた授 業を行うことができた。</li> <li>・教職員が専門知識を高められる資料 提供（情報発信）、研修の実施等を考 えていきたい。</li> <li>・食に関する指導の全体計画、給食指 導目標の活用できる周知の仕方、取組 の工夫。</li> <li>・小学部は保健の学習が少ないため、 定期的に学習する機会を設定したい。</li> <li>・実践例を周知するだけではなく、児童 生徒が自ら取り組む授業に向け、課内 や各学部学年で活動内容や指導法な ど話し合う機会を設ける。</li> </ul>
<p><b>主体的、 対話的で 深い学び を実現す る授業を つくる</b></p>	<p>・研究テーマに 掲げる「もっと 学びたい姿」 を引き出す授 業研究が充実 している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はごろも『夢』講演会 や各グループ研修で、 発達と運動の高次化理 論に基づく児童生徒理 解や見取りについて学 びを深めた。</li> <li>・公開授業研究会を実 施し、校外の教員も交え て、児童生徒のもっと学 びたい姿とそれを引き出 す支援について考えた。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が認知発達について理解を深 め、支援の検討や授業づくりに活か せるようになってきている。</li> <li>・公開研究会やグループ研修を通し、 『もっと学びたい姿』とそれを引き出 す、認知発達に基づいた支援について 話し合い、まとめることができた。</li> <li>・認知発達に視点を置いた児童生徒 の実態把握を単元構想にも生かし、単 元を通してつけたい力を明確にして授 業づくりを行っていきたい。研修での取 り組みを普段の授業にも活かせるよ うな研修のあり方を考えたい。</li> </ul>
	<p>・授業において 自分の考えを 発信したり、友 だちの考えを</p>	<p>・新しい校内サーバを用 意したことで、校内ネット ワーク（無線）で iPad と サーバ間のデータのや</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置したばかりで、具体的な場面は まだだが、以前使っていた iPad アプリ documents が使用可能になり、デー タのやり取りが無線で可能になった。</li> </ul>

	受け止めたりする場面を作っている。	り取りが可能になった。		・やり方が前回と違う場面があるので、今後の対応が必要だと考えられる。
キャリア発達を促す指導の充実を図る	・学部学年間のつながりを意識し、「この時期にこれが大事」を重視した授業実践を行っている。	・授業実践を行うとともに、学びの履歴の記入や基本年計の検証を行い、実践を振り返った。 ・各学部の取り組みや状況を伝え合い、「大事」とされることを広げていくことが少しずつできてきた。 ・つながりを意識することが多くなった。	A	・基本年計をもとに授業実践を行った。また、年計反省や学びの履歴の記入、学年や教科部会、教務課内で話し合い、振り返ることができた。 ・キャリア支援課職員中心に各学部の様子が分かり、課題点も検討できた。学部間のつながりを意識することができるよう、工夫する。 ・学部間の連携を取りやすくし、そのために他学部の様子を知っておきたい。12年間のつながりに関して目にする機会を増やしたい。
個々の実態を踏まえた授業の充実を図る	・実態把握に基づいた自立活動の指導（「時間の指導」を含む）の充実が図られている。	・個別の指導計画やケース会などで、一人一人の実態や課題について検討した。発達度チェックリストやKTC、感覚と運動の高次化理論などを用いて、課題が明確になったり、実態や課題の近い児童・生徒が同じグループで学習できたりした。 ・外部専門家を交えて個々のケースを検討できた。 ・掲示板や教材教具展で自立活動に関する研修会、書籍、資料、教材の使い方などを職員に告知した。	A	・外部専門家とのケース検討によって、難しいケースについての課題解決に近づいた。 ・目標や活動内容を考える難しさが課題として挙げられている。また、本校の教育課程上の自立活動の位置づけ（取り扱う内容）についての課題も挙がっている。
表現活動の充実を図る	・表現の喜びを高める音楽や図工・美術の指導が充実している。	・音楽・図工美術の各準備室の整備とルールの周知、新規物品購入。 ・各準備室に破損や修繕が必要な楽器・物品を入れるかごや購入希望アンケート箱の設置。	A	・先生方の必要性ある楽器や物品の予算計上。 ・2学期以降、研修で学んだことをいかして工夫された額装の提出。 ・消耗品の購入・充実と新規物品の紹介。

	業務改善と不祥事根絶を図る	・教職員が働きやすい職場環境になっていると感じている。	・設備面で改善できるところは、要望した。その結果、改善できた設備もあった。 ・時刻設定の見直し(定時退勤日の最終施錠時刻、留守番電話の転送時刻)	B	・金曜日の定時退勤日には、おおむね18時施錠ができてきている。 ・設備面や環境面について、良い環境とはいえない状態だった。引き続き要望していく。 ・放課後の運用や定時退勤日の意識とともに、業務内容についても検討していく。
		・校内、校外にかかわらず不祥事の発生件数0	・コンプライアンス通信の掲示と周知 ・不祥事根絶研修の実施	A	・ヒヤリハットの情報共有もできたことにより、不祥事の発生はなかった。 ・不祥事にならないように、ヒヤリハットの共有や研修を行うことで、不祥事0を次年度も目指す。
うつなげる	特別支援教育のセンター的機能を発揮する	・将来の社会生活を見通して今の学校生活を充実させる支援を考えることができている。	・校外連携マップにより、各関係機関や各部で連携している機関や、地域学習で利用している施設等を周知することができた。	A	・児童生徒の学校生活を見通せる一助となった。 ・児童生徒の将来の生活が具体的にイメージできていない。
		・校外からの教育相談や研修支援、関係会議への組織的な参画を行っている。	・関係機関からの要請に応じて適切に対応、参加することができた。	A	・必要な家庭に関しては、外部機関と連携して、児童生徒支援、保護者の対応について情報共有をすることができた。 ・研修支援や、教育相談の実績が伝わらない。
	家庭・地域・関係機関と協働する	・個別の指導計画、個別の教育支援計画の活用を通して、保護者や関係機関との連携協力が図られている。	・個別の指導計画や教育支援計画のスケジュールを提示したり、新しい指導計画の様式や見本を作成して教職員に周知したりした。 ・特に高等部に関しては重要な活用になっている。関連機関も参考にしている。	A	・スケジュールを提示することで、計画的に進めることができた。また、支援計画と指導計画のつながりが分かりやすい指導計画の様式を作成することができた。 ・必要な情報を伝えることができた。社会との関わりも分かりやすい。 ・新しい様式はR7からスタートするので、保護者への説明の仕方等を全体で共通理解する。 ・相手が知りたい情報と伝える内容のギャップ。内容を教員が把握しての活用。
	・地域の資源や人材を活用	・積極的に活用できた学年と活用がなかった学		A	・活用した学年においては、いいあらわれが見られ、効果的であった。

	した学習活動が展開されている。	年と二分された。		地域人材の情報が不足している。
	・児童生徒の校内や地域での学びの様子が伝わるように発信している。	・新しいHPを滞りなく運用できた。 ・視聴覚室前の掲示板利用の継続、維持。 ・校内展示の入替。 ・校外作品展への出展。	A	・期日までに、新しいHPの移行や運営を行うことができた。 ・校外への情報発信を他の課と連携して行った。 ・掲示の仕方の工夫。(掲示物を破られることが多く、維持が困難であった。) ・HPでの発信が少なかった。 ・校内展示を充実させたい。

### <富士宮分校>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア 守 る	安心・安全な教育環境の整備	・学習環境が整い、安心・安全な学習活動が行われた。	・日常的な環境整備や安全点検を実施した。ネット環境について関係機関と連携した。	A	・異常気象等の対応もできていたが、夏の体育、朝トレのやり方を工夫したい。 ・パソコン室等のネット環境が悪く、授業の進みが遅くなった。関係機関と連携し、改善の方向で進んでいる。
	生徒自らが命を守る行動力の育成	・防災防犯学習等が充実し、生徒自ら身の回りに存在する様々な危険を認識し、自らの命を守る行動ができた。	・防災防犯教育また、それぞれの講座を実施した。SNS安全安心講座も実施した。	A	・講師を招いての学習は生徒も教師も勉強になる。 ・いろいろな場面を想定して訓練できているので、有事のときにどのように動くのか体感することができた。
	危機管理マニュアルに基づく防災・防犯体制の充実	・緊急時に教職員のとるべき行動が周知徹底され、危機管理体制が整備された。	・緊急時体制訓練の実施や危機管理マニュアルの見直しを行った。	A	・行事前の緊急対応訓練やマニュアルの確認ができたので、自分のとるべき行動を確認することができた。 ・定期的に見直し、バージョンアップしていきたい。
イ 育 む	自分や人を大切にし、豊かに生きる心の育成	・生徒に寄り添い、道徳教育が充実するとともに生徒の自律ある行動が増えた。	・道徳計画に基づく道徳の授業の充実を図った。	A	・各学年のトピックスを題材にすることで、生徒たちの意見を考えることができた。授業だけでなく、日常の中に活かできるよう工夫している。 ・授業検討や準備の時間が足

				りないため、計画的に授業実践を進めたい。
表現する喜びを実感し豊かな情操を育む学びの推進	・表現する喜びが高まり、生徒が意欲的に活動に取り組んだ。	・音楽や美術以外の授業の充実。校外の展示会に出展した。	A	・様々な場面で表現する機会が用意されていて、自分のことを自分の言葉で答える生徒が増えている。
健全な心身を育む活動の充実	・健康でたくましい体やしなやかな心育む活動が充実していた。心身を育む活動が充実した。	・計画的に朝のトレーニング等の内容を工夫した。 ・スクールカウンセラーの活用も充実している。	B	・縦割りでの体育や生徒の実態に応じた内容で特性を生かした活動になっている。 ・3年間でどうたくましくしなやかな心(レジリエンス)を育てていけるか全体で研修を深めたい。また、学校だけでなく、家庭(保護者)も巻き込んで取り組めると良い。
主体的・対話的で深い学びを追求した授業	・研修テーマ追求のための授業研究が充実し、授業力の向上が見られた。	研究テーマに沿った実践。 ・研究授業実施(3回) ・一人一授業の実践し学びの充実。 ・外部講師からの指導助言。(4人5回)	A	・テーマに向けて、それぞれで研修を進めている。さらに、自分で問いを見つけ、学び続けることができる環境や意識をもてるようにしたい。
	・生徒が主体的に学習問題に取り組む姿が見られた。		A	・生徒が知りたい、やってみようと思っている学習に対して、積極的に取り組んでいる。主体的に取り組むための仕掛けや学習課題は大切である。 ・さらにダイナミックな単元、授業を工夫していきたい。
実態に応じた年間指導計画に基づく工夫を凝らした授業の実践	・カリ・マネの意識が高まり、個別の指導計画を活用した授業改善を行った。	・自立活動の目標における中心課題を設定した。個別の指導計画の書式の改善。	A	・カリ・マネを意識して教科横断的に授業をつなぎながら深めている。 ・さらに個別の指導計画を意識できると良い。授業改善につなげていきたい。
キャリア発達を促す教育の充実	・キャリアパスポートが活用され、3年間の見通しと積み上げのあるキャリア教育が充実した。	・それぞれの学年の生徒が自分の歩みを創るキャリアパスポートを作成した。	A	・実習の記録等をキャリアパスポートに保存することで、これまでの目標ややってきたこと業種、次への課題などが分かりやすくまとめられた。 ・面談や実習を機会に活用しているが、さらに生徒にとって意味あるものにしていきたい。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に生徒会活動等に取り組むことで自治的能力が高まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒総会の実施や生徒会活動が充実できた。生徒会執行部主催の活動を行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自治の生徒会が確立してきたように思う。今後も維持していけるよう工夫していきたい。仕事を精選し、役割を明確化したことで、生徒の主体的な姿が増えた。</li> <li>・自分たちで考えて動くことが難しい生徒に対しての手立て等を柔軟に考えたい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の専門的知識が広がり、学び続ける関係が築かれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び続け高めあう専門性向上研修の実施。</li> <li>・会議の内容やタイムマネジメントを意識した。ペーパーレス化を推奨した取組の実施。定時退勤日の設定。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年会等で授業検討や一人一授業の反省を計画的に取り入れている。</li> <li>・専門性の高い教職員がいるので、日常的に学びを深めていきたい。</li> </ul>
	チーム力が高まる働きがいのある職場の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場環境と業務内容が見直され、働く環境が整えられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退勤日の設定等時間外勤務が大幅に増加している職員はいない。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く環境はとても良い。定時退勤日等が確立されていて、集団の中でも声を掛け合っている。</li> <li>・業務の内容によっては、特定の教師への負担も多くなっている。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権や命を守る教育公務員としての倫理観が高まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年での話し合いや研修を通して、倫理観が高まっている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に人権や不祥事などについて振り返りを行うことで意識できた。「～さん」づけの職員も増え、教育公務員として全体で意識を高めていきたい。</li> </ul>
ウ つ な げ る	近隣高校との共生・共育及び地域資源を活用した授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流及び共同学習を通して生徒の経験が広がり、お互いの良さに気づくことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校(大宮小、富士宮二中、富士宮北高)の交流活動を実施した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験すればするほど価値はあり、様々な人がいることや態度など気をつけるきっかけになった。</li> <li>・交流後の振り返りや生徒の気持ち・考えの変容の見とりを大切にしたい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で学ぶ機会が充実し、生徒の知識の広がりや豊かな心が育まれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用(場の広がり)した取り組みが充実した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を知り、地域で学ぶ、地域に貢献できる環境を整えたい。新たな学び場の広がりや地域資源活用を増やしていきたい。</li> </ul>

	特別支援教育のセンター的機能の推進	・特別支援教育に関する小中高等学校への支援が充実した。	・高校や中学校の教育相談、進路相談といった支援の充実。	A	・コーディネーターが高校へ出向き、支援を行い、その内容を校内で伝達できている。また、小学校での交流をとおして、様々な気づきが見られている。
	家庭・地域・関係機関との連携の推進	・生徒を中心にした保護者、関係機関との連携ができた。	・生徒指導や支援を必要とする生徒の会議が充実できた。	A	・任担当が丁寧に対応しより良い関係を築けている。 ・教員と保護者の考えに温度差がある場合の連携の難しさや不登校の生徒の対応といったところの連携を工夫したい。
・生徒が校内及び地域で学び育つ様子を分かりやすく発信した。		・ホームページや掲示板を活用して取組を発信できた。	・HPをリニューアルしたことや掲示板の活用に効果を確認できている。 ・発信だけの一方通行にならないための工夫、見る側視点で発信内容を工夫していくといったことも考えていきたい。		

<富士東分校>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア 守 る	安心・安全な教育環境の整備	・学習環境が整い、安全に学習活動が行われている。	・生徒自ら、教室や廊下の安全点検を毎月実施し、担任へ報告した。 ・授業で東高を含む校内のAEDの場所を確認した。 ・保健委員生徒が熱中症指数を毎朝計測し、掲示した。 ・大きな怪我、救急搬送ゼロ	A	・生徒の精神面の安定に向けた取組が設定されている。自立活動、カウンセリング、外部講師、日常のコミュニケーション等について、生徒へのかかわり方についても日々、同僚同士で振り返りができている。 ・毎月の安全点検を生徒と教員が分担して確認していることで、生徒も安全意識の向上を図ることができた。 ・次年度はさらに学年、人数も増えるため、次年度を見据えた環境整備を計画的に進めていきたい。
	生徒自らが命を守る行動力の育成	・緊急時に自分ができるべき対応が分かり命を守る行動ができている。	・東高との合同避難訓練、AED講習、がれき救助、東日本大震災語り部講話、SNS防犯講座、交通安全教室等を実施した。	A	・現役消防士や福島の語り部など、実際に災害現場を経験している方の話を直接生徒が聞くことができ、自分の身を自分で守ろうとする意識が向上したと感じられる。 ・作業班ごとの緊急体制訓練を来年度実施する予定であるため、行えば生徒はより対応できると思う。

					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際的な場面で、自分で判断し、行動する力が求められるので、内容を精査しつつ、具体的な場面を想定したKYTなどの活動も取り入れていきたい。</li> </ul>
	危機管理マニュアルに基づく防災・防犯体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急時に教職員がとるべき対応を理解し行動できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農耕班の授業中に、畑で不調者が出た場合を想定し、緊急時対応訓練を実施した。</li> <li>・ 県教委防災担当職員と共に危機管理マニュアル見直し作業を行った。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常に緊急時に備えて必要なものや経路等を意識して活動している。</li> <li>・ 個人として、組織として、緊急時の対応が周知されているとは言い難い現状があると思うので、全職員で確認する機会を設けたい。</li> <li>・ 年度当初に確認はしたが、毎月の職員会議などで、全体で再度確認するとよい。</li> </ul>
イ 育 む	自分や人を大切に、豊かに生きる心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒が他者を思いやる行動がとれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校生活上の悩みや困りごとがないか学校生活アンケートを実施した。</li> <li>・ アンケート実施後には、悩みありの生徒に、担任が友人関係の不満等を聞き取り、関わり方や気持ちの持ち方を指導した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別活動（HR）の中で、学年内の課題や困り感について生徒中心に話し合う機会を持つことができている。学部としても、生徒会活動、委員会活動の中で他者貢献の態度が育ってきている。</li> <li>・ 養護教諭による生徒の生の声の情報共有も多角的な視点で生徒を理解することにつながっている。</li> <li>・ 人を思いやる行動についての指導は、個別で行ったり、時間を設けて全体指導をしたりして、継続して行う必要がある。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒が主体的に生徒会活動等に取り組み、自治的能力が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒主体で校則を見直すルールサミットを、生徒会主催で実施した。</li> <li>・ 生徒同士で、学校を良くするための方策を相談したりして自分たちが新しい学校を作る話し合いを行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ルール・サミットを通して、生徒会が主体となり自分たちで考え、学校を作っていこうとする機会が増えている。まだ、始めたばかりなので「種まき」の段階、継続していくことで、当事者意識をもって生徒が主体的に運営をする学校を目指していきたい。</li> <li>・ 教員が生徒の主体性について学ぶことができたのでこれからだと思う。</li> </ul>
	表現する喜びを実感し豊かな情操を育む学びの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽や美術等の表現する喜びが高まり、生徒が進んで活動に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロの歌手による、夢の語らいや生歌を聞く会を行った。</li> <li>・ 東高と合同での芸術鑑賞会（和楽器演</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロ歌手の生演奏やスタバ等への作品展示により、芸術に関わろうとする興味関心を高めることができた。</li> <li>・ 生徒の実態に合った単元を設定することができているので、ほとんどの生徒が前向きに</li> </ul>

		奏)を実施した。 ・スターバックス富士高島店で美術作品の展示会を実施した。		授業に参加することができている。 ・美術作品の展示の機会が多く、生徒はもちろんであるが教員のモチベーション向上につながっている。 ・専科の教師の指導や意見を求めたいときが多々ある。
健全な心身を育む活動の充実	・生徒が自らの心身の健康に関心をもち、知識・技能を身に付けるとともに主体的に活動に取り組んでいる。	・外部講師を招いた性教育講座や養護教諭による保健講座を実施した。 ・体力の向上を目的にして、新体カテストの結果をもとに、生徒が朝のトレーニングの内容を考えて行った。	A	・外部講師による保健講座や保健の授業、体育などでさまざまな知識・技能を身に付け、主体的に活動を行っている。授業外でも実践したりしている。 ・自己の体力や体調管理、怪我についての意識が高まっている姿が増えた。 ・運動や食生活、基本的な生活習慣の重要性を、様々な授業で取り扱っている。(家庭科、職業、保健体育、作業)一方で実生活に活かしきれない生徒もいるので、引き続き取り組んでいく必要がある。
生徒自身が、確かな学びを実感できる授業の充実	・生徒が「何を、どのように学び、何が身に付いたのか」という確かな学びを実感している。	・全ての授業や個別の指導計画で、年間指導計画の目標に沿った授業を実践した。 ・年間指導計画は、3年間でバランスよく各教科の学習ができるように計画した。 ・授業の中で、生徒が振り返る場面や生徒が学んだことを発表する場を設けた。	A	・日々の授業の中で、学んだことを生活の中や違う場面で話題に出したりする姿が見られた。特に、定期訪問の国語の中心授業では、生徒が主体的に自分の意見を出し合って話し合いをして考えている姿が見られ、生徒自身も学びを実感している様子だった。 ・授業や講座によってわかりやすい内容のときとそうでない内容のときがあったが、授業後に感想を聞くと、自分の考えを伝えることができる生徒が増えた。 ・生徒からも実感を感じていることを教員に話してくれることもある。
キャリア発達を促す教育の充実	・生徒が「主体者」としてキャリアパスポートの作成・活用に参画し、自身の成長を実感している。	・実習日誌や振り返り、学期の振り返り等でキャリアパスポートを活用した。 ・生徒と保護者が共に学ぶ進路学習会を3回実施した。	A	・地域作業や職場見学、職場実習など、地域社会とのつながりの中で、自己の適性や将来について考え、内省を深める力が高まっている。 ・生徒会、委員会、学級活動など、生徒が中心となって企画・運営をしていく場面を今後も増やしていきたい。その際、教員のサポートの仕方や伴走者としてのかかわり方など、実践を積み重ねていけるとよい。

	チームで学校運営に取り組み、働きがいを感じる職場づくり	・教職員が目標をもって協働しながら業務に取り組み、やりがいを感じている。	・教職員それぞれが役割を分担し、連携して授業を行った。 ・OJTによる教員同士の学び合いを実施した。 ・各教員の得意分野を生かした学習内容を設定した。	A	・次年度は3学年が揃うので各課の状況や学年部の動きが見えるように、プロジェクトや学年単位での目標を小グループで議論・設定したり、各自の業務が学校の目標達成にどのように貢献するか理解できる場を設けたりするなど、目的意識を共有できる場を組み込んでいけるとよい。
		・教育公務員としての倫理観が高まっている。(不祥事ゼロ)	・授業準備や生徒指導状況の共有等、組織として対応した。	A	・自分自身が風通しの良さを感じるだけでなく、周りも同様に感じているかまで心がけていきたい。
ウ つ な げ る	高校との共生・共育及び地域資源を活用した授業	・日常的な交流及び共同学習を通してお互いの良さに気付く活動が実施されている。	・毎月の職員会議で不祥事根絶のためのグループワーク研修を行った。	A	・富士東高校や地域での活動など、外から見られる機会も相まって、それぞれに富士東分校の教員としての倫理観を高めている。
		・地域で学ぶ機会が充実し、生徒の知識や経験が広がっている。	・文化祭に合同で参加した。 ・農耕班の野菜を東高の生徒や教職員に販売した。 ・東高と合同でインスタの投稿記事を作成して、アップした。	A	・東高の共生・共育委員とのインスタコラボという新しい取組がスタートしている。 ・活動が充実していることで生徒や教員が意欲をもって参加することができている。 ・意図的にお互いの良さを伝え合う場面を設けていきたい。
	特別支援教育のセンター的機能の充実	・特別支援教育に関する小中高等学校への支援が充実している。	・毎週金曜日に地域作業を実施した。 ・メンテナンス班がみの幼稚園や青葉台まちづくりセンター等の清掃活動を実施した。 ・外部人材(消防士、福島県語り部、富士警察署員、気象台職員等)による授業を行った。	A	・地域作業やメンテナンス班での校外清掃でも、地域の方々とかわりながら働くことについて学ぶことができているととてもよいと思う。 ・青葉台文化祭に向けた準備や当日の手伝いでは、地域とのかわりを直に感じることができ、貴重な経験だった。 ・地域作業、職場実習、地域交流、外部講師を活用した授業は、生徒が直接体験を通して成長する機会が多い。この強みや価値を共有・継続し、伝統や風土にしたい。
	家庭・地域・関係機関との協働	・生徒が校内及び地域で学び育つ様子や学習の意図を分かりやすく発信している。	・富士市内高校のコーディネーターと現状を共有した。 ・地区中学校支援級生徒・保護者向けに、学校見学会、教育相	A	・学校通信の配付や中学生対象の学校見学会等を通して、分校教育の理解啓発が進んでいるという実感がある。直接的な支援ではないが、生徒や保護者が高等部への進学を目指す動機付けを高め、進路指導

			談を実施した。		の一助となっている。
--	--	--	---------	--	------------

(2) 7年度の取組目標・達成方法・成果目標（重点目標はゴシック体で記載）

<本校>

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	主な担当部署
ア 守 る	安心・安全な教育環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権尊重を般化するための年間計画立案と実施</li> <li>・人権研修の計画的実施</li> </ul>	・安心して学校生活を送れるよう、児童生徒に対し人権を意識した言動をとっている。	生徒指導課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の健康状態の適切な把握</li> <li>・感染症等対策(手洗い、換気、清掃・消毒等)の取組</li> </ul>	・状況に応じた衛生管理や感染症対策等を日常的に行っている。	保健安全課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員間、看護師、医療機関との連携による医療的ケアの安全な実施</li> </ul>	・医療的ケア児童生徒が体調を整え安全に授業へ参加できるよう、必要な連絡や対策を関係者間で丁寧に行っている。	医ケア課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な環境整備や安全点検を活用した危険箇所の改善</li> </ul>	・児童生徒の事故や怪我等を減らすための対策や行動をとっている。	庶務課 保健安全課 事務部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティ対策の確実な実施</li> </ul>	・児童生徒の個人情報を適切に管理している。	情報教育課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな災害(地震・火事・噴火・医ケア実施中の発災等)を想定した災害対策訓練</li> <li>・福祉避難所運営マニュアルを活用した訓練実施とマニュアルの継続的な見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命や身体を守るための知識や行動を児童生徒に教えたり導いたりしている。</li> <li>・災害時の対応が具体的に想定され、その場に必要なことを各自が行動に移せる。</li> </ul>	防災課 医ケア課 防災危機管理委員会
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時対応訓練の実施(体調変化、行方不明、不審者侵入、事故)</li> <li>・救急法講習会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定される様々な緊急事態に対し未然に防ぐ対策をとっている。</li> <li>・緊急事態発生時には、その場に必要ことを各自が行動に移せる。</li> </ul>	保健安全課 生徒指導課 医ケア課 事務部
イ 育 む	豊かな心と健康な体を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活年齢や発達段階に応じた保健体育指導の実施</li> <li>・性教育を含む保健に関する指導の充実</li> <li>・食に関する指導の充実</li> </ul>	・健全な心身を育成するために、運動、食、保健の知識などについて適切に指導している。	体育課 保健安全課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽や図工・美術の授業実践例紹介や専門研修の実施</li> <li>・読書に親しむ活動の推進</li> </ul>	・個性を生かした表現活動、創作活動が充実するよう導いている。	文化芸術課
	主体的、対話的で深い学びを実現する授業をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ研究や年次別研修を活用した日常的な授業研究</li> </ul>	・研究テーマに掲げる「もっと学びたい姿」を引き出す授業研究が充実している。	研修課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別や一斉学習におけるICT機器、アプリ等の効果的な活用</li> <li>・GIGAスクール、BYODの整備、推進</li> </ul>	・「もっと学びたい姿」を引き出すために授業でICT機器を有効活用している。	情報教育課	

	キャリア発達を促す指導の充実を図る	・「12年間のつながり一覧」「学びの履歴」「進路指導の手引き」「キャリアパスポート」を活用した授業実践と年間指導計画の見直し	・学部学年間のつながりを意識し、「この時期にこれが大事」を重視した授業実践を行っている。	教務課 キャリア支援課	
	個々の実態に合わせた授業の充実を図る	・自立活動の目標設定、あらわれの見取り等に関する研修会や学習会の実施 ・外部専門家を活用した自立活動ケース会の実施	・個々の児童生徒の実態に合わせた自立活動の指導を適切に行っている。	自立活動課	
	業務改善と不祥事根絶を図る	・働きやすい職場環境づくりのための教職員間の情報共有と協働 ・コンプライアンス意識の高まりをめざした職員研修	・少しでも働きやすい職場環境となるよう改善を図っている。 ・不祥事発生件数0を常に目指している。	管理職 企画会 事務部 庶務課 職員安全衛生委員会	
うつなげる	特別支援教育のセンター的機能を発揮する	校内	・日頃の気づきを大切にされた支援体制づくり ・外部機関と連携したケース会議の実施 ・連携マップの周知、活用	・児童生徒の家庭状況も含めた教育環境が整うよう、状況に応じた早めの対策をとっている。	地域連携課
		校外	・校外からのニーズへの丁寧な対応	・校外からの教育相談や研修支援、関係会議への組織的な参画を行っている。	地域連携課
	家庭・地域・関係機関と協働する		・目標の共通理解と家庭での取組をサポートする個別面談 ・進路や実習についての情報提供	・個別の教育支援計画、個別の指導計画の活用を通して、保護者や関係機関との連携協力が図られている。	教務課 キャリア支援課 地域連携課
			・学校運営協議会等の意見を反映させた教育活動の推進 ・交流及び共同学習の計画的実施	・地域の資源や人材、行事を活用した学習活動を展開している。	地域連携課 管理職
			・ホームページ更新やお便り発行による保護者や地域の方に伝わる情報発信 ・校外作品展、校外作業製品販売等の実施による発信	・児童生徒の活躍、輝きが校外に広く伝わるような発信をしている。	情報教育課 地域連携課 文化芸術課

<富士宮分校>

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア守る	安心・安全な教育環境の整備	・日常的な環境整備や安全点検の充実 ・ヒヤリ・ハットの共通理解と環境整備の見直し（発見、気づき、共有、改善） ・情報セキュリティの適切な実施	・学習環境を考え、安全・安心な学習活動となる取組を行っている。	生徒指導課 保健課 安全推進課 教務課
	生徒自らが命を守る行動力の育成	・様々な災害を想定した実践的避難訓練や緊急時対応訓練の実施（年5回以上） ・防災教育授業や防災講座の実	・防災防犯等の学習内容を工夫し、生徒に身近に起こり得る危険を認識させ、自ら命を守る態度や行動を身	安全推進課 生徒指導課 保健課 教務課

		<p>施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯教育/防犯講座の実施（年1回以上）</li> <li>・AED体験や自転車も含めた交通安全の行動等、自他の命を大切に学習の充実</li> <li>・スマホやタブレット端末等の情報機器使用に関わる講座（SNS安全・安心講座）の実施</li> </ul>	<p>につけるための学習に取り組んでいる。</p>	<p>体育課</p>
	<p>危機管理マニュアルに基づく防災・防犯体制の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な緊急時体制訓練の実施（行方不明、不審者侵入、不審物取得、事故怪我の緊急時体制の図式化、情報共有）</li> <li>・危機管理マニュアルの定期的な見直し</li> <li>・救急法講習会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な緊急事態を未然に防ぐための行動や役割を理解し、行動できている。</li> </ul>	<p>安全推進課 保健課</p>
イ育む	<p>自分や人を大切にし、豊かに生きる心の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳計画に基づく「特別の教科道徳」の授業の充実と生徒の豊かな心の育成</li> <li>・学校生活アンケート等による生徒の情報共有と気持ちに寄り添う体制づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に寄り添い、道徳教育を充実させるとともに生徒の自律ある行動が増えている。</li> </ul>	<p>生徒指導課 指導部</p>
	<p>表現する喜びを実感し豊かな情操を育む学びの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「音楽」「美術」等授業の充実</li> <li>・生徒の感情が動く授業づくりの工夫</li> <li>・校内外の芸術発表、各コンクールへの応募による分校生徒の輝き・活躍を発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が表現（言葉・態度等）する喜びを高めるための授業実践を意欲的に行っている。</li> </ul>	<p>文化芸術課</p>
	<p>健全な心身を育む活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に継続して行うトレーニングの実践と充実</li> <li>・新体カテストの実施・集計・反映</li> <li>・日常生活の指導と保健授業の充実</li> <li>・スクールカウンセラーの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の健康でたくましい体やしなやかな心を育む活動の充実を図っている。</li> </ul>	<p>体育課 保健課 研修課 （自立活動主任）</p>
	<p>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の進展</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一授業の実践、授業参観、研修会の充実</li> <li>・個別最適な学びと協働的な学びの充実</li> <li>・学習や目的に合わせたグルーピングの工夫とTTの効果的な支援、ICTの活用</li> <li>・主体的な活動を引き出す単元設定の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修テーマに迫るための授業研究が充実し、授業力が向上している。</li> </ul>	<p>研修課 安全推進課</p>

	<p>実態に応じた年間指導計画に基づく工夫を凝らした授業の充実・改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動の目標における中心課題の設定</li> <li>・年間指導計画に基づく定期的な個別の指導計画の評価や目標設定の見直し（カリキュラム・マネジメントの視点）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム・マネジメントの意識を高め、個別の指導計画を活用した授業の充実・改善を行っている。</li> </ul>	<p>教務課 研修課</p>
	<p>キャリア発達を促す教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自分の歩みを描くキャリアパスポートの作成と活用、支援</li> <li>・他の教科との関連を重視し、3年間の段階的な進路指導の充実（手引きの活用）</li> <li>・生徒が主体的に取り組む生徒会活動等の充実（グルーピング、見える化）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の段階的な進路指導と積み上げのあるキャリア教育の充実を図っている。</li> <li>・生徒の主体的に取り組む姿や自治的能力を高めている。</li> </ul>	<p>進路指導課 教務課 学部</p>
	<p>チーム力が高まる働きがいと働きやすさのある職場の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同僚性を生かし学び合う OJT グループ等での専門性向上研修の実施</li> <li>・会議の内容精選と時間の有効活用</li> <li>・心理的安全性を高める工夫</li> <li>・ICT の活用及び業務効率化の向上（ペーパーレス化・業務改善）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の専門的知識を広げ、学び合う関係性を築いている。</li> <li>・働きやすい職場環境になっていると感じている。</li> </ul>	<p>教務課 学部/管理職</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全、管理に関する意識向上</li> <li>・相互理解を深める人権研修の実施</li> <li>・不祥事根絶に向けて、コンプライアンス意識の高まりをめざした職員研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命や人権を守る教育公務員としての倫理観や人権感覚を高めている。（不祥事ゼロ）</li> </ul>	<p>生徒指導課 学部/管理職</p>
<p>うつなげる</p>	<p>近隣高校との共生・共育及び地域資源を活用した授業の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士宮北高等学校との交流及び共同学習の充実</li> <li>・幼稚園、小学校、中学校、施設等との交流活動による心の育成</li> </ul> <p><u>3回以上</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材や資源を活用した授業の工夫外部講師等を招聘した授業 <u>15回以上</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流及び共同学習を通して生徒の経験を広げ、自他の良さに気づく働きかけをしている。</li> <li>・地域（教育）資源や人材を活用した学習活動を展開している。</li> </ul>	<p>進路指導課 学部/管理職</p>
	<p>特別支援教育のセンター的機能の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高等学校の特別支援教育のニーズに応じた丁寧な対応（特支に関する相談・情報・提供）の推進</li> <li>・小中高等学校の教員に対する研修協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に関する小中高等学校への支援の充実を図っている。</li> </ul>	<p>進路指導課 （特支Co.） 教務課 学部/管理職</p>

家庭・地域・関係機関との連携・協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケースに応じた効果的な面談の実施</li> <li>・教育活動の目的や生徒の思いが伝わるホームページ、SNS、学校掲示板の活用</li> <li>・生徒の可能性が伝わる展示や企業等外部者の来校機会の効果的な設定</li> <li>・学校運営協議会の充実と共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒を中心に考え、保護者、関係機関との連携ができています。</li> <li>・生徒の校内及び地域で学び育つ様子を分かりやすく発信している。</li> </ul>	進路指導課 (特支Co.) 教務課 学部/管理職

<富士東分校>

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 守 る	安心・安全な教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティの周知・徹底</li> <li>・複数の視点での安全点検実施</li> <li>・危険予知トレーニングの実施とヒヤリ・ハットの共通理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境が整い、安全に学習活動が行われている。</li> </ul>	教務課 生徒指導課 保健体育課 学年部
	生徒自らが命を守る行動力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の防災教育授業の実施</li> <li>・登下校中の安全教育の実施</li> <li>・富士東高校と共に実践的な避難訓練の実施</li> <li>・防犯講座、交通安全教室等の計画的な実施</li> <li>・生徒自らによる定期安全点検の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を通して、生徒自身が緊急時にとるべき対応が分かり、命を守る行動ができるようにしている。</li> </ul>	教務課 生徒指導課 保健体育課
	危機管理マニュアルに基づく防災・防犯体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルを共通理解するための継続的な研修の実施</li> <li>・効果的な防災・防犯・緊急体制訓練の実施（行方不明、不審者侵入、事故等）</li> <li>・訓練から明らかになった課題の改訂</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が緊急時にとるべき対応を理解し行動できている。</li> </ul>	生徒指導課 保健体育課
イ 育 む	自分や人を大切にし、感謝の気持ちをもって生きる心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育全体計画、いじめ防止基本方針、人権教育全体計画による生徒の思いやりの心の育成</li> <li>・養護教諭と管理職、部主事、学年主任間での朝一の情報共有</li> <li>・生徒が主体的に取り組む生徒会活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を通して、生徒が他者を尊重する行動がとれるよう支援している。</li> <li>・生徒が主体的に生徒会活動等に取り組み、自治的能力が高まる環境を作っている。</li> </ul>	学年 研修課 生徒指導課
	表現する喜びを実感し豊かな情操を育む学びの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内外の芸術発表、各種コンクールへの応募による分校生徒の活躍の発信</li> <li>・委員会を活用した読書活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽や美術等の表現する喜びが高まり、生徒が進んで活動に取り組む環境を作っている。</li> </ul>	学年 教務課
	健全な心身を育む活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の健康や性の指導について年間指導計画を基に系統的・段階的な指導を行う。</li> <li>・体力の向上と生涯学習につながる体育活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を通して、生徒が自らの心身の健康に関心を持ち知識・技能を身に付けるとともに主体的に活動に取り組むようにしている。</li> </ul>	学年 保健体育課
	生徒自身が、	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画とシラバスを活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が「何を、どのように</li> </ul>	学部

	確かな学びを実感できる授業の充実	した單元ごとの目標及び評価規準の設定 ・学習評価の視点に基づく授業の充実	学び、何が身に付いたか」という確かな学びを実感できる授業をしている。	学年 研修課
	キャリア発達を促す教育の充実	・「主体者」として、学校生活を充実するための話し合い活動の実施 ・実習前後に将来を考えるキャリアカウンセリングの実施 ・生徒と保護者がともに学ぶ進路学習会の実施	・生徒が「主体者」として成長を実感し、今後について考えられるキャリア教育を行っている。	学部 学年 進路連携課
	チームで学校運営に取り組み、心理的安全性が高く、働きがいを感じる職場づくり	・富士東分校にかかわる誰もがお互いを尊重し合える学校風土づくり ・学び合いのOJTグループを活用した専門性向上研修の実施 ・ICTを活用した職場環境、学習環境の整備 ・会議の内容精選とタイムマネジメント	・教職員は目標をもって協働しながら業務に取り組み、やりがいを感じている。 ・教職員は同僚間の風通しの良さを感じている。 ・教職員は教育公務員としての倫理観が高まっている。(不祥事ゼロの継続)	学部 教務課 研修課
うつなげる	高校との共生・共育及び地域資源を活用した授業	・高校生同士の言葉と空気感を大切に富士東高校との交流及び共同学習の実施 ・幼稚園や小・中学校、施設との交流活動による生徒の心の育成 ・地域の人材や資源を活用した地域作業の充実 ・富士特支3校間での相互連携を生かした授業の工夫	・生徒及び分校生と関わる人がお互いの良さに気付く活動を実施している。 ・地域で学ぶ機会を充実させ、生徒が知識や経験を広げる取組を行っている。	学部 学年
	特別支援教育のセンター的機能の充実	・学校通信や生徒の生の声を活用した情報発信 ・学校公開や公開研究会等を通じた分校の取組の実践紹介	・学校公開等、分校の取組紹介を通じた近隣校への支援を行っている。	学部 進路連携課
	家庭・地域・関係機関との協働	・生徒を中心に据えた、計画的、効果的な面談の実施 ・生徒製作の記事を含むInstagramや学年便り等による、時機を逃さない情報発信 ・学校運営協議会との協働	・生徒が校内及び地域で学び育つ様子や学習の意図を分かりやすく発信している。	学部 学年 進路連携課

4 監査対象期間における特色ある取組

<本校>

【6年度】

取組概要	成果及び課題
<p>安心・安全な教育環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な対応</li> <li>・災害時対応</li> <li>・緊急時対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権目標に対しての評価として「人権の花(ひまわり)」作成に取り組んだ。意識を高めることはできたが定着するところまでは、できていない。</li> <li>・食に関する指導計画の配付や栄養教諭と連携しての授業実践などに取り組んだ。まだ、活用が十分ではない。</li> <li>・福祉避難所開設訓練を実施した。事前の打ち合わせをていねいにおこなったことで訓練時、具体的に行動へ移すことができた。今後、マニュアル・指示書の改訂を行っている。自分事として捉え、繰り返し訓練を実施していくことが必要。</li> <li>・緊急時対応訓練を、各学年で設定を変えながら取り組んできた。対応の手順がすぐわかるようにマニュアルなどの見直しを行っている。</li> </ul>
<p>安全な地域生活に向けた段階的な講座受講 (高等部) 携帯のマナー講座、選挙出前講座</p>	<p>&lt;携帯マナー講座&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次から情報モラルについて学び、2年生で校内講師による携帯マナー講座を受講。外部講師でなく、生徒の実態をよく知る教員に教えてもらうことで理解が深まった。講座受講後も継続的な指導が必要だが、時間を設定しての指導が十分できていない。指導時間の工夫が必要。</li> </ul> <p>&lt;選挙出前講座&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1～3年34組の生徒が受講。1年生にとっては内容の理解までは難しいが、3年間を通し理解を深めている。3年生にとっては、投票経験のある生徒も増え、講座を受け選挙に参加する大切さについて意識が高まっている。</li> </ul>
<p>主体的、対話的で深い学びを実現する授業をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な人材を活用した学習支援</li> </ul> <p>職能を有する専門家との協働授業、通常の授業では取り扱いの少ない学習経験をすることで、児童生徒の潜在能力の見出しや伸長、体を動かすことを楽しむ心を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グランシップミニコンサート(9月)</li> <li>車いすダンス 高A課程</li> </ul>	<p>&lt;グランシップコンサート&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間近で、本物の音楽を聴ける体験はどの生徒も穏やかな表情で聴いたり、演奏者をよく見たりして音楽を楽しんでいる姿が多く見られた。</li> </ul> <p>&lt;音楽療法&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部からの積み重ね、重度の生徒も音やリズムを楽しむ姿が多く見られた。専門家によるアプローチにより様々な楽器を扱いながら個々の表現を引き出すことができた。</li> </ul> <p>事前の打合せをすることで、さらに個やグルー</p>

<p>キッズダンス 小B課程5、6年 音楽療法 小・中・高A課程 16回予定 WAZAチャレンジ (フラワーアレンジメント) 中B課程1年、 中A課程、 (コサージュ作り) 高B課程3年</p>	<p>プに合わせた活動になる。 WAZAチャレンジ &lt;フラワーアレンジメント&gt; ・知的学級だけでなく肢体不自由学級の生徒も本物の花を自分の思うように生け、花の香りを楽しみながら作品を完成できた。WAZAチャレンジは材料費の負担のみで貴重な体験のできる有意義な活動であり、毎年計画をしているが選出から漏れてしまうことがあり、学年によって偏りができてしまう。 &lt;車いすダンス&gt; ・車いすの生徒も、音楽に合わせて楽しく活動できた。そのダンスを運動会で披露し、自信につながった。</p>
<p>自立活動の時間の指導の充実</p>	<p>・理学療法士、作業療法士による指導、授業支援を継続して行った。希望者が自由に参加できるよう各学部の調整を行っていく。</p>
<p>家庭・地域・関係機関と協働する ・校外作品展、校外作業製品販売等 スターバックスイオンタウン富士南店 江戸屋富士宮店、近藤薬局ギャラリー 富士山エコトピア、ファミリーマート大淵店、 大淵ふるさと村等</p>	<p>・地域連携課、情報教育課、キャリア支援課と連携をして実施した。後期に作品展が多く重なるため、業務分担を考えていく。 ・作品展、販売会を通して、学校を知ってもらう機会を設けることができる。</p>
<p>特別支援教育のセンター的機能</p>	<p>・校外からの教育相談や研修支援、地区の小学校へ学校訪問及び指導支援を行ってきた。児童生徒支援とともに、指導している教員への支援をこれから充実させていく。</p>

【7年度】

取組概要	成果及び課題
<p>安心・安全な教育環境をつくる ・日常的な対応  ・災害時対応  ・緊急時対応</p>	<p>・人権研修(各学年部でのグループワーク学期1回)による人権意識の向上。年3回の人権教育セルフチェックで自己を振り返る機会を設けた。学級学年ごとの「ひまわりの花」の取組により、児童生徒も仲間の良さに目を向けるようになった。毎月の人権教育目標掲示や生徒会の昼の放送などで、日常的に意識する。 ・避難訓練の実施(年5回) ・シェイクアウト訓練(年3回)緊急時の避難方法の確認をし、いつ発災しても慌てず行動できるよう、意識付けしていく。 ・福祉避難所開設訓練(7月29日)市や保護者の参加により、具体的な動きを確認 ・緊急時対応訓練(年度初め 学年ごと)緊急</p>

	<p>の場合の教員の動きの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急法講習会（6月）</li> <li>・不審者対応訓練（6月）</li> <li>・行方不明捜索訓練（年度初め 学年ごと）</li> </ul>
安全な地域生活に向けた段階的な講座受講	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日防災学習 東部地域局危機管理課出前講座 高B課程2年</li> <li>・（高等部）携帯のマナー講座、選挙出前講座、消費者教育、薬学講座</li> </ul>
<p>主体的、対話的で深い学びを実現する授業をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な人材を活用した学習支援</li> </ul> <p>職能を有する専門家との協働授業、通常の授業では取り扱いの少ない学習経験をすることで、児童生徒の潜在能力の見出しや伸長、体を動かすことを楽しむ心を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WAZAチャレンジの活用</li> <li>・文化と出会う機会創出事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすダンス 高A課程</li> <li>・キッズダンス 小B課程5、6年</li> <li>・音楽療法 小・中・高A課程 16回予定</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モザイクアート 中B課程1年</li> <li>・高B課程3年(9月)</li> </ul>
自立活動の時間の指導の充実	<p>夏季研修による自立活動研修</p> <p>理学療法士、作業療法士による指導、授業支援</p>
<p>家庭・地域・関係機関と協働する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校外作品展、校外作業製品販売等</li> </ul>	<p>スターバックスイオンタウン富士南店 富士山エコトピア、商工フェア ファミリーマート大淵店、静岡銀行広見支店、大淵ふるさと村等</p> <p>作業製品販売体験を通して社会的な自立支援をしていく。</p>
特別支援教育のセンター的機能	<p>校外からの教育相談や研修支援</p> <p>地区の小学校へ学校訪問及び指導支援</p>

### <富士宮分校>

【6年度】

取組概要	成果及び課題
<p>地域や近隣学校との共生・共育の充実を図るための活動</p> <p>&lt;静岡県立富士宮北高等学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北嶺祭「文化の部」「体育の部」参加</li> <li>・「共生・共育ガイダンス」</li> <li>・生徒会、部活動交流、道路環境美化活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に「北嶺祭」体育の部及び数年ぶりに文化の部に参加した。オープニングへの参加、分校の理解啓発につながる展示（作業製品・美術作品等）を行い、富士宮北高生と関わりながら活動を楽しむことができた。比較的受け身な姿勢での参加なため、次年度は、担当職員や生徒会と話し合いを密にして計画したい。体育の部では、参加種目を絞り、競い楽しむことができた。また、分校の集団演技を全校生徒の前で披露し、感動・絆を伝えることができた。</li> <li>・富士宮北高1年生（200人）を対象にした『共</li> </ul>

<p>&lt;富士宮市立大宮小学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級との農園芸交流</li> </ul>	<p>生共育ガイドンス』（事前アンケートを基に）では、分校生徒会執行部生徒の学校紹介を宮北生徒が真剣に聞くなど、共生共育の道筋が整ってきた。また、他の交流活動も同じ場での活動だけにとどまらず、高校生同士のかかわりやふれあいを大切にを進めていくことの必要性を両校で話し合うことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大宮小学校との農園芸交流では、異年齢との交流ということもあり、分校生徒の優しさや明るさが前面に出た活動が継続されてきている。</li> </ul>
<p>外部の専門家を招いて各種講座等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災学習</li> <li>・交通安全教室</li> <li>・防犯講座</li> <li>・薬学講座</li> <li>・作業学習（陶芸家）</li> <li>・陸上教室</li> <li>・スクールカウンセラーの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月に交通安全教室や防災学習を実施。富士宮警察交通指導員や県東部地域局危機管理課主査を招いて、基本的な知識や意識を高め学ぶことができた。</li> <li>・6月の防犯講座や薬学講座では、富士宮警察署生活安全課のスクールサポーターからスマホのトラブルや今後起こり得るトラブルを想定しながらその解決に向けた内容、薬物に関する知識や危険性について真剣に学ぶことができた。</li> <li>・スクールカウンセラーは担当者継続。生徒の気持ちに寄り添いながら効果的なカウンセリングを行うことができた。</li> </ul>

【7年度】

取組概要	成果及び課題
<p>地域や近隣学校との共生・共育の充実を図るための活動</p> <p>&lt;静岡県立富士宮北高等学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北嶺祭「文化の部」「体育の部」参加</li> <li>・「共生・共育ガイドンス」</li> <li>・「共生・共育委員会」</li> <li>・生徒会、部活動交流、道路環境美化活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に行われた「北嶺祭」には、体育の部及び文化の部に参加した。両校の生徒会執行部が企画会議を重ね、オープニングやイベントを合同企画して、実施することができた。また、富士宮北高校舎中央付近に美術・作業製品の展示場所を設置し、富士宮北高生の感想を聞きながら活動を楽しむことができた。一方、体育の部では、種目の参加方法を工夫し、分校生徒の活躍の場を広げることができた。また、例年継続している分校の集団演技に対して、富士宮北高生から多くの感想の言葉が寄せられ、分校生徒の気持ちの高まりにつながっている。</li> <li>・富士宮北高1年生（200人）を対象にした『共生共育ガイドンス』では、分校生徒が制作した部活や作業紹介の動画を使い、生徒会執行部が説明を行った。また、事前と事後にアンケートを実施し、富士宮北高生から多くの共生共育の取組のアイデアを募ることができた。</li> <li>・両校の教職員が一堂に会し、共生共育委員会を実施した。グループに分かれ、富士宮北高生</li> </ul>

<p>&lt;富士宮市立大宮小学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級との農園芸交流</li> </ul>	<p>の交流アイデアをもとに、実現に向けた協議を深めることができた。生徒の想いを大切にしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動交流では、サッカー部、バスケットボール部、パソコン部が活動を共にした。部活動の活動を通じて、自然な交流が深まっている。</li> <li>・大宮小学校との農園芸交流では、大宮小学校の畑を共に整備し、児童に優しく教える姿が多くみられた。</li> </ul>
<p>外部の専門家を招いて各種講座等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災学習</li> <li>・交通安全教室</li> <li>・防犯講座</li> <li>・薬学講座</li> <li>・作業学習（陶芸家）</li> <li>・スクールカウンセラーの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士宮警察交通課指導員を招いて実施した交通安全教室では、危険場面を想定した安全運転について学ぶことができた。</li> <li>・防災学習では、県東部地域局危機管理課主査の講義や演習を意欲的に取り組み、ジュニア防災士の資格を得ることができた。</li> <li>・防犯講座や薬学講座では、富士宮警察署生活安全課のスクールサポーターからSNS利用におけるトラブルや薬物に関する危険性を学び、生徒同士でグループワークを行い、意識を高めることができた。</li> </ul>

<富士東分校>

【6年度】

取組概要	成果及び課題
<p>富士東高校及び地域の特別支援学校との高校生同士がつながり合う共生・共育の充実</p> <p>&lt;富士東高校&gt;</p> <p>理念主導の共生・共育ではなく、高校生同士の言葉で、高校生同士の空気感で交流を色付け、膨らますボトムアップの取組を大切にす</p> <p>る。</p>	<p>日常的な交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に富士東高の共生教育委員とランチ交流会を実施した。新1年生が加わり、初めて顔を合わせる者同士は緊張感のある中で始まったものの、次第に打ち解け合う姿も見られた。</li> </ul> <p>行事交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共生共育集会</li> </ul> <p>富士東高1年生を対象にして、部主事による分校紹介、分校の作業学習体験を行った。富士東高生の感想からは「分校の生徒は手先が器用」「専門的な技術の必要な作業をやっていて驚いた」などの感想が聞かれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練、対面式</li> </ul> <p>富士東高との合同防災訓練では、富士東高生と同じように運動場へ避難した。その後、富士東高生全員との対面式を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東雲祭 文化の部、体育の部</li> </ul> <p>文化の部では、オープニングでダンスパフォーマンスを披露したり、作業班ごとの展示や販売等を行ったりした。体育の部では、学級対抗リ</p>

<p>&lt;富士特別支援学校本校、富士宮分校&gt; ・～ すくらむ SCRUM ～ 各校の特色や強みを生かした授業交流</p>	<p>レーや長縄等に出場した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動交流</li> </ul> <p>インターハイに出場する東高サッカー部、陸上部、野球部への激励会を、分校スポーツ部、総合文化部の主催で行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意識調査の実施</li> </ul> <p>東高生を対象にアンケートを実施し、分校生の良いところを聞いた。「学校をきれいにしてくれる」「あいさつが積極的」「笑顔なところ」等の感想が聞かれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月12日富士宮分校3年生がビブリオバトルを行い、良い発表と思った人に投票する等Zoomを利用した遠隔授業で東分校生と交流した。</li> </ul>
<p>外部人材や地域資源を活用した地域との協働活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣施設等の清掃活動</li> <li>・地域の商業施設等での職業体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣施設等の清掃活動</li> </ul> <p>メンテナンス班が、近隣の町づくりセンターや幼稚園に向いて窓清掃を行った。利用者から感謝の言葉をいただき、生徒たちは「もっとやりたい」と意欲を高めていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の商業施設等での職業体験</li> </ul> <p>1学期は2年生が4か所の近隣事業所に向いて職業体験を行った。スーパーでは、商品の前出しの他、お客さんから質問され商品のある場所への案内も行った。</p>

【7年度】

取組概要	成果及び課題
<p>富士東高校及び地域の特別支援学校との高校生同士がつながり合う共生・共育の充実</p> <p>&lt;富士東高校&gt; 高校生同士の言葉と空気感で進める共生・共育を大切にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行事・授業交流</li> <li>・対面式及び共生・共育集会</li> </ul> <p>両校の生徒による対面式(4/9)で顔合わせを行った後、4/17に共生・共育集会を富士東高1年生対象に行った。部主事による分校紹介、分校の作業学習体験を行った。富士東高生の感想からは「実際に一緒にやってみて、分校の人たちがしている仕事の大変さ・すばらしさを体感した」「丁寧な掃除の仕方を知れて、生活にも生かしたいと思った」などの感想が聞かれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上部、野球部応援</li> </ul> <p>寄せ書きボードを作成し選手に贈呈したり、富士球場で行われた試合に応援団として東高生と共に参加したりした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育講座</li> </ul> <p>12/10両校生徒40人程度で災害時を想定したパッククッキングを実施する予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日常的な交流</li> <li>・ランチ交流 東高共生・共育委員と分校生</li> </ul>

	<p>が昼食を共にし、雑談や東雲祭準備の話をし、コミュニケーションを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インスタグラムの共同投稿 両校生徒が共同して作成し、同じ記事を両校のインスタに投稿した。</li> <li>・東高新聞の取材 東高新聞部生徒が分校生徒や教員にインタビューをし、分校特集の記事を製作した。</li> </ul>
<p>&lt;富士特別支援学校本校、富士宮分校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・～ 富士特SCRUM ～</li> </ul> <p>各校の特色や強みを生かした授業交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東雲祭で本校生が作業製品の販売</li> <li>・ 国語「短歌」 作品を各校で巡回展示</li> <li>・ 作業製品のコラボをzoomで生徒たちが相談</li> <li>・ 高2 実習報告会をzoomで共同開催</li> <li>・ サッカー部の練習試合を実施</li> <li>・ 教職員による授業参観や研修を相互に実施</li> </ul>
<p>外部人材や地域資源を活用した地域との協働活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業学習新製品の開発</li> <li>・ 地域イベントへの参加・運営補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業学習新製品の開発 新作業班：サステナブル班開設に向け、コーヒー殻脱臭剤の開発を行った。コーヒー殻は近隣のコンビニ店やSDGsに熱心なカフェから提供を受けた。</li> <li>・ 地域イベントへの参加・運営補助 市内の体育館で行われた音楽イベントでは、アーティストとコラボして出演したり、作業製品の販売をしたりした。青葉台地区の文化祭では、展示販売の他、ステージ発表の司会や会場清掃、片付け等の運営補助にも携わった。</li> </ul>

5 教職員について

(1) 6年度異動状況

		本務職員										任期付職員・臨時的任用職員 会計年度任用職員							合計	
		校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	事務長	主査	主任	主事	小計	教諭(任期付・臨時)	医ケア看護職員	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	実習支援指導員	非常勤講師・スクールカウンセラー		小計
本校	転出		-1		-20	-1					-1	-23	-2						-2	-25
	退職				-2			-1				-3	-3						-3	-6
	役職定年										0								0	0
	転入		1		12	1		1				15	4						4	19
	新任				6							6	3	1		2			6	12
	差引増減	0	0	0	-4	0	0	0	0	0	-1	0	-5	2	1	0	2	0	0	5
富士宮分校	転出			-1	-7							-8	-2						-2	-10
	退職										0								0	0
	役職定年										0								0	0
	転入			1	5							6	1						1	7
	新任											0							0	0
	差引増減	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	-2	-1	0	0	0	0	0	-1
富士東分校	転出				-1				-1			-2	-1						-1	-3
	退職										0								0	0
	役職定年										0								0	0
	転入				6				1			7	1						1	8
	新任											0							0	0
	差引増減	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 現員数

(令和7年7月31日現在)

		本務職員										任期付職員・臨時的任用職員・会計年度任用職員							合計
		校長	副校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	栄養教諭	主査	主任・主事	小計	教諭(任期付・臨時)	医ケア看護職員	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	実習支援指導員	非常勤講師・スクールカウンセラー	小計	
本校	男	1				54				1	56	3	1	3	2		1	10	66
	女		1	1	1	96	2	1	1	1	104	19	5	8	3	1	1	37	141
	計	1	1	1	1	150	2	1	1	2	160	22	6	11	5	1	2	47	207
富士宮分校	男			1		8					9							0	9
	女					10	1			1	12	1		1				2	14
	計	0	0	1	0	18	1	0	0	1	21	1	0	1	0	0	0	2	23
富士東分校	男		1			6					7	1						1	8
	女					7	1		1		9	1		1				2	11
	計	0	1	0	0	13	1	0	1	0	16	2	0	1	0	0	0	3	19

(3) 健康管理について

<本校・富士宮・富士東分校>

【6年度】

- (ア) 健康診断（結核・生活習慣病・婦人科・指定年齢健診・人間ドック・脳ドック）を実施し、疾病の早期発見と健康相談等の事後指導により、健康の保持増進に努めた。
- (イ) 職員安全衛生委員会を月1回開催し、保健安全衛生に関する事項を協議した。  
また、健康管理医による校内巡視を実施し、指導助言を受け、環境改善に努めた。
- (ウ) 職員安全衛生委員会で話題になった内容は、NES掲示板を利用して全職員で情報を共有していくとともに職員に対する健康教育として、NES掲示板の活用、学部会等での伝達を通して、保健情報の発信を積極的に行った。
- (エ) 感染症拡大防止対策として、教職員は自身の健康観察の徹底に努めた。地域の感染症流行期には、NES掲示板で感染予防策や健康管理について呼びかけを行った。

【7年度】

- (ア) 健康診断（結核・生活習慣病・婦人科・指定年齢健診・人間ドック・脳ドック）を実施し、疾病の早期発見と健康相談等の事後指導により、健康の保持増進に努めていく。
- (イ) 職員安全衛生委員会を月1回開催し、保健安全衛生に関する事項を協議していく。  
また、健康管理医による校内巡視を実施し、指導助言を受け、環境改善に努める。
- (ウ) 職員安全衛生委員会で話題になった内容は、NES掲示板を利用して全職員で情報を共有していくとともに職員に対する健康教育として、NES掲示板の活用、学部会等での伝達を通して、保健情報の発信を積極的に行う。
- (エ) 感染症拡大防止対策として、教職員一人一人の感染症に対する危機意識を高めていくと共に、NES掲示板を活用し、感染予防策や健康管理について呼びかけを行っていく。

(4) 教職員の研修について

<本校>

【6年度】

研修テーマ「もっと学びたい」授業づくり「主体的・対話的で深い学び」の充実を通して教員の資質向上を図るため、外部講師を招聘し、以下の学習会を実施し、公開授業研究会を実施する。1年目に明らかになった「もっと学びたい」姿とその姿を引き出すための有効な支援について、学部間のつながりや内容の検討を行い、成長や発達段階に応じた支援を充実させる。明らかになった支援や授業づくりについて研究の成果をまとめる。教員の資質向上を図るため、外部講師を招聘し、以下の学習会を実施する。

実施日	演題・学習会内容	講師
11/19 (公開 授業研)	研修課研修会	静岡大学教授 香野 毅 氏
	授業研究会（小A課程・訪問）	赤尾ひとみ 元静岡北特支南の丘分校副校長
	授業研究会（中B課程）	岩谷 俊宏 伊豆の国特別支援学校教諭
	授業研究会（小B課程）	廣 国睦 清水特別支援学校教諭
	授業研究会（中A高A課程）	徳永 光真 吉田特別支援学校教諭
	授業研究会（高B課程）	長田 三千絵 カレッジまどか指導教諭

特別支援教育への取組の一環として、校内外の関係者を対象にした研修会、専門性向上研修

実施日	演題・学習会内容	講師
8/27	スクールカウンセラー相談方法学習会 児童生徒・保護者対応について	スクールカウンセラー 石川 誠 氏

【7年度】

研修テーマ「『もっと学びたい』姿を引き出す学習計画の工夫」の充実を通して教員の資質向上を図るため、外部講師を招聘して以下の学習会を実施し、各グループで授業研究会を実施する。「もっと学びたい」姿を引き出すには、どの段階での学習計画に着目し、どのような工夫・改善をしていけばよいのかを考え、研究を進めていく。児童生徒のあらわれを見取りながら、学習計画との関連を検証していくことで、自分で考えながら意欲的に学ぶ姿を目指す。内容の検討を行い、成長や発達段階に応じた支援を充実させ、明らかになった支援や授業づくりについて研究の成果をまとめる。教員の資質向上を図るため、外部講師を招聘し、1学期は以下の学習会を実施した。

実施日	演題・学習会内容	講師
6/9	授業研究会（小B課程）	渡邊康子 富士特別支援学校富士宮分校教諭
6/23	授業研究会（小A課程・訪問）	土屋真衣子 沼津聴覚特別支援学校教諭
6/24	授業研究会（中B課程）	山地 康代 沼津特別支援学校愛鷹分校教諭
7/9	授業研究会（高B課程）	勝間田ひな子 御殿場特別支援学校小山分校教諭
7/11	授業研究会（中高A課程）	横澤 美保 東部特別支援学校教諭

特別支援教育への取組の一環として、校内外の関係者を対象にした研修会、専門性向上研修

実施日	演題・学習会内容	講師
7/29	子どもに伝える性の話	薬剤師・思春期保健相談士・社会福祉士 船津裕子氏
8/28	スクールカウンセラー相談方法学習会 児童生徒・保護者対応について	スクールカウンセラー 石川 誠氏

<富士宮分校>

【6年度】

- 1 研究テーマ 「教科学習と作業学習をつなぐカリキュラム・マネジメントの実践  
～育まれた思考を発揮する作業学習～」

2 研究の目的

3年計画の3年目として、各教科等を合わせた指導の場である作業学習の中で、教科学習において育んだ資質・能力を効果的に発揮できるように、有効な支援のつながりについて研究した。生徒の実態に基づいた「育成を目指す資質・能力」を明確にし、各教科等の学習内容を相互関係で捉え、学びを発揮できる有効な手立てや変容を共有して授業をつくり、目指す姿に迫ることができた。また、教科等横断的な視点で年間指導計画の内容や配列を改善し、実態に応じたカリキュラムの編成を行った。

3 研究の内容と方法

- ・思考を育む授業づくりの継続的な実践
- ・学習指導要領に沿った年間指導計画の見直しと作成
- ・学習計画を用いて、教科学習が作業学習の中で活かされる姿、支援を想定し、学年部と作業班での共通理解を図り、授業実践につなげる。また、学年研修、作業部会、作業班長会、教科部会などを有効活用する。

4 校内における学習会

教員の資質向上を図るため、外部講師を招いて校内授業研究会及び学習会を実施した。

実施日	演題、学習会内容	講師等
5/21	校内授業研究会（作業学習：メンテナンス班、	静岡大学准教授 山元 薫氏

	レザークラス、陶芸班)	
9/10	学校定期訪問 中心授業(教科学習：職業)	静岡県総合教育センター 特任教官 前田 貴子 氏
12/9	公開研究会 中心授業(作業学習：木工班)	静岡大学准教授 山元 薫 氏

資質向上研修

実施日	演題、学習会内容	講師等
7/29	不祥事根絶研修	管理職
7/31	自立活動研修	スクールカウンセラー 茂泉 知代 氏
7/31	職場の健康づくり	中伊豆温泉病院 理学療法士 藤原 潤 氏
7/31	「人生設計」について	ジブラルタ生命保険株式会社
8/29	被災地オンライン研修	いのちをつなぐ未来館 担当者
8/2	ICT機器学習会	フューチャーイン
8/2	校内自立活動研修会	教務課
8/29	共生共育学習会（富士宮北高校合同）	担当職員及び管理職

【7年度】

1 研究テーマ 「主体的に社会で生きる人を目指した授業実践～「なりたい自分」を目指して～」

2 研究の目的

学部目標である「主体的に社会で生きる人」を目指し、生徒自身が「こうなりたい」「〇〇を学びたい」という思いをもって主体的に学びに向かう姿を引き出したいと考え、3年間の研究に取り組む。生徒の得意・不得意を整理し、生徒自身の「なりたい自分」の姿をより具体的にするとともに、思考を育む対話を通して生徒と教師が目標や思いを共有し、学びの充実を図る。

3 研究の内容と方法（3年計画の1年目）

- ・生徒との対話から「なりたい自分」の姿を具体化し、授業や個別の指導計画の目標を設定する。
- ・各教科等のねらいに沿った思考を育む授業づくりの継続的な実践と授業改善を図る。
- ・生徒の「なりたい自分」や富士宮分校として生徒に「つけたい力」を構成する要素を整理し、授業づくりやカリキュラム・マネジメントにつなげる。

4 校内における学習会

教員の資質向上を図るため、外部講師を招いて校内授業研究会及び学習会を実施する。

実施日	演題、学習会内容	講師等
7/30	校内学習会（知的障害生徒への授業づくり）	静岡大学准教授 山元 薫 氏
9/26	校内学習会（合わせた指導）	Build WORKS Lab 徳増 五郎 氏
10/27	学校定期訪問 中心授業(作業学習：クラフト班)	静岡県総合教育センター 特任教官 前田 貴子 氏
12/12	校内授業研究会 授業公開（総合：1年生、総合：2年生）	静岡大学准教授 山元 薫 氏

資質向上研修

実施日	演題、学習会内容	講師等
8/1	自立活動研修	静岡県総合教育センター 特任教官 小滝 剛司 氏
8/1	「人生設計」について	ジブラルタ生命保険会社
8/4	生徒指導研修	スクールロイヤー のぞみ法律事務所 杉山 裕紀 氏
8/7	不祥事根絶研修	管理職

8/5	I C T学習会	教務課
8/5	職場の健康づくり	毛細血管観察士 吉田 省司 氏
8/26	防犯講座	富士宮警察署
8/29	共生教育学習会（富士宮北高校合同）	担当職員及び管理職

### <富士東分校>

#### 【6年度】

- 1 研究テーマ 「確かな学びを実感し、『学びに向かう力』を高める授業づくり」  
～学習指導要領に基づく学習評価の充実～
- 2 研究の目的
  - ・ 学習指導要領に示す内容について、理論と実践を往還する研修に取り組むことで、教員一人一人が、理論的な根拠に基づくカリキュラム・マネジメントのPDCAサイクルに参画する。
  - ・ 生徒が確かな学びを実感できる学習評価を実施するために有効となる単元のデザインや支援方法等を実践的な検証を通して明らかにする。
- 3 研究の内容と方法（3年計画の2年目）
  - (1) 学習指導要領に関する理解を深める対話型研修
    - ・ メンターとなる教員を中心に少人数での対話を通じた学習会の実施
    - ・ 学習会での学びと授業実践を連動させ、理論と実践を往還する研修の推進
  - (2) 学習評価に視点を当てた授業実践
    - ・ 学習指導要領に示す各教科等の内容に即した学習状況の把握
    - ・ 実態と学習状況の把握に基づく適切な目標と評価規準の設定
    - ・ 生徒が確かな学びを実感するための単元計画及び学習評価計画の作成
    - ・ 生徒自身が「何を、どのように学び、何が身に付いたのか」が分かるための授業の工夫
    - ・ 単元を通しての学習評価と指導の評価の一体的な実施
  - (3) 学習評価とカリキュラム・マネジメントの機能的な実施
    - ・ 学習状況の評価と指導の評価を元にした年間指導計画の見直し
    - ・ 年間指導計画の改訂に伴うシラバスの見直し

#### 校内授業研究会及び学習会

実施日	演題・学習会内容	講師
5/10	「授業カード」「単元カード」	岩附敦史 部主事
6/12	「ラーニングマップ」	岩附敦史 部主事
7/16	授業研究会 2年国語「いろいろな見方で分類しよう」	
8/1	学習会「国語科を中心とした教科の授業実践」	富士宮分校：山下憲市先生
9/13	研究授業の検討、教材研究	
11/28	定期訪問 ・ 授業研究：国語科「ごんぎつね」 ・ こどもを主語にした学びを実現するために	静岡県総合教育センター 前田貴子 特任教官
1/17	「ラーニングマップの活用」	岩附敦史 部主事

#### 資質向上研修

実施日	演題・学習会内容	講師
12/9	自立活動学習会 授業と1日の生活を参観し、助言	長田三千絵 カレッジまどか指導教諭

【7年度】

- 1 研究テーマ R5年度から継続
- 2 研究の目的 R5年度から継続
- 3 研究の内容と方法（3年計画の3年目）  
 令和7年度は昨年度までの研究実践をもとに、次の3点を中心に進めている。
  - ・年間計画とシラバスの見直し
  - ・ラーニングマップを用いて全生徒一人一人の国語科に関する学習状況の把握
  - ・学習評価を反映したカリキュラム・マネジメントの仕組みを構築

校内授業研究会及び学習会

月	内 容
4月	・全体研修 研修テーマ等の共通理解、研修計画の提案、授業カード等の提案 学習指導要領研修、新任者研修
5月	・学部研修 単元カード、授業カードの活用 ラーニングマップ学習会
6月	・学部研修 国語数授業カードによる公開研修 ・OJTの提案のまとめ、希望者募集
7/16	富士特教員SCRUM「公開授業参観会」 国語科、作業学習授業参観、授業者との懇談 富士特本校、富士宮分校教員が来校
7/22	国語科授業研 事後研究会
7月	・OJT研修
8月	・自立活動学習会
9～ 11月	・授業研究会に向けた授業案検討 ・授業参観、意見交換
11/17	定期訪問 公開授業「国語」事後研究 所管事項説明
1月～	R5～7年度の研究のまとめ R8年度～の研究構想

6 防災対策について

＜本校＞

児童生徒の生命と身体の安全を守り、学校施設の保全を図るため、防災課を中心として全教職員防災対策を進めている。

- (1) 防災課を置き、施設の安全対策と、児童生徒に対する防災教育の充実を図った。
- (2) 児童生徒の非常食と非常用飲料水を、一人当たり9食分備蓄している。また、職員用非常食と非常用飲料水については、2食分を一括購入し、高等部棟に保管した。
- (3) 非常用の薬が必要な児童生徒については、個々に集めて保健室で保管した。
- (4) 避難経路や防災設備点検と、防災備品のメンテナンスを防災課員が月1回実施した。
- (5) 児童生徒の登下校時や在宅時における災害（地震や大雨等の悪天候）についても対応を検討し、マニュアル整備を進めた。
- (6) 富士市の担当者と連絡を取り、福祉避難所の開設と運営に向けた準備を進めた。富士宮市とも連携を図っている。
- (7) 学部や課程ごと、児童生徒の実態に応じた防災教育を実施した。高等部は総合学習でジュニア防災士の資格取得も目指し、取得した生徒は下級生への普及活動も行っている。
- (8) 災害時初期メンバーを決め、災害発生時に速やかに適切な対応がとれるように準備をした。

- (9) 災害時の電源確保のためソーラー発電を設置、発電機を5台所有
- (10) 富士山の噴火を想定し、ゴーグルとマスクをつけた訓練を行った。
- (11) 通常の避難訓練とは別に、シェイクアウト訓練を定期的実施し、いつ発災しても自分の身を守る行動をとれるようにしている。

【6年度】

防災訓練の実施状況および計画

実施月	想定	内容
4月30日	地震	全校参加の避難訓練・避難経路の確認
5月13日	火災	全校参加の避難訓練・避難経路の確認・消防通報・消火
8月1日	地震・火災	南海トラフ地震に関連する情報発令を想定した全校引き渡し訓練
9月5日	地震	
11月5日	噴火	富士山噴火注意情報発令を想定した訓練
1月16日 (予告なし)	地震	抜き打ち訓練 全校児童生徒、職員による情報伝達・避難訓練・避難経路確認

7月30日HUG避難所運営ゲーム、7月31日防災学習会、8月1日福祉避難所設営研修

【7年度】

実施月	想定	内容
4月28日	火災	全校参加の避難訓練・避難経路の確認・消防通報・消火
5月22日	地震	全校参加の避難訓練・避難経路の確認
7月29日	地震	南海トラフ地震に関連する情報発令を想定した全校引き渡し訓練
9月4日	地震	
9月10日	地震	シェイクアウト訓練（授業中）・避難行動の確認
10月29日	地震	シェイクアウト訓練（給食中）・避難行動の確認
11月11日	噴火	富士山噴火注意情報発令を想定した訓練
1月予定 (予告なし)	地震	抜き打ち訓練 全校児童生徒、職員による情報伝達・避難訓練・避難経路確認
2月17日	地震	シェイクアウト訓練（登校時）・避難行動の確認

※7月29日 福祉避難所開設訓練

<富士宮分校>

生徒の安全と安心な学校生活を保障するため、防災担当を中心として全教職員で防災対策を進めている。

- (1) 危機管理マニュアルを作成し、全職員にデータの配布と共有を行った。これを基に役割分担と任務、地震災害応急対策の流れなどについて、全職員で確認し、具体的な想定も含めて研修会を行った。
- (2) 学校備蓄品以外に、生徒・職員の非常用飲料水・食料を6食分常備している。常備薬については個々の物を非常用に預かっている。備蓄食料については分掌課と生徒の防災学習の両方で場所や内容を確認することができている。
- (3) 隣接校の富士宮北高校との連携を推進している。
- (4) 地域の防災体制について情報を収集する。
- (5) 生徒が自分の住んでいる地域における防災について、知識を広げ行動できるような学びを充実する。

【6年度】

防災訓練の実施状況及び計画

実施日	想定	内 容
5月9日	地震	地震想定（避難路確認）
8月31日	災害時	富士宮北高校合同訓練（1年生が高校の家庭科室、2年生が図書室、3年生は分校から避難）※荒天のため中止、分校のみで北高施設利用時の避難経路確認の代替訓練を実施
9月2日	災害時	災害伝言ダイヤル聞き取り訓練
9月9日	災害時	学年別防災学習 1年生スモークハウス、2年生ダンボールベッドの組立 3年生ライフラインの確保
2、3学期に各1回	地震、火災	予告なし避難訓練（避難対応訓練、避難経路確認）

【7年度】

防災訓練の実施状況及び計画

実施日	想定	内 容
5月8日	地震	地震想定（避難路確認）
9月1日	災害時	富士宮北高校との合同訓練
9月1日	災害時	災害伝言ダイヤル聞き取り訓練
9月4日	災害時	学年別防災学習 1年生スモークハウス、2年生避難所運営HUG訓練 3年生ライフラインの確保
2、3学期に各1回	地震、火災	予告なし避難訓練（避難対応訓練、避難経路確認）

<富士東分校>

生徒の安全と安心な学校生活を保障するため、生徒指導課（防災担当）を中心として全教職員で防災対策を進めている。また富士東高等学校の防災担当と連絡・調整を図り、両校が連携する形で防災対策に取り組めるようにしている。

防災対策

- (1) 防災計画の立案
- (2) 「富士山火山避難基本計画」を踏まえた危機管理マニュアルの作成と周知徹底
- (3) 防災備蓄品の管理、防災訓練の計画・実施（富士東高校との連絡・調整）
- (4) 学校備蓄品以外に、生徒の非常用飲料水・食料（4食分）、非常用衣類を常備している。
- (5) 常備薬については個々の物を非常用に預かっている。

※富士東分校単独での消防計画の作成と提出は不要。富士東高校に含まれているとみなす。

（令和5年7月12日：富士市消防本部予防課に確認）分校に防火管理者をおく必要もない。

防災教育

- (1) 防災学習会の計画・実施（職員向け）
- (2) 防災教育推進のための連絡会議 年1回
- (3) 総合的な探求の時間 月1～2回

静岡県防災学習のアプリを活用し、地震の仕組みや、地震から身を守る方法について学習を行っている。またハザードマップを活用し、災害時に自宅周辺や通学路で危険性について調べる学習を行っている。

【6年度】

防災訓練の実施状況

実施日	想定	内容
4月12日	地震	避難経路の確認（富士東高校と合同）
9月1日	災害時	富士東高校と合同訓練
9月2日	災害時	災害伝言ダイヤル体験
10月31日	地震	がれきからの救助法、運搬法、段ボールベッドの設営
11月14日	地震	福島県より語り部来校「東日本大震災からの教訓」

【7年度】

防災訓練の実施状況及び計画

実施日	想定	内容
4月11日	地震	避難経路の確認（富士東高校と合同）
6月12日	地震	がれきからの救助法、運搬法、段ボールベッドの設営
9月3日	大規模災害時	富士東高校と合同訓練
11月6日	水害	東部地域局「異常気象への対応」
11月27日	地震	防災講座「東日本大震災 釜石の軌跡 体験者講話」

7 学校開放について<本校のみ実施>

【6年度】

開放施設	利用日数	利用者延数	利用者負担金
体育館	17日	185人	3,027円
教室	12日	139人	2,269円
グラウンド	10日	426人	0円

【7年度】

（令和7年7月31日現在）

開放施設	利用日数	利用者延数	利用者負担金
体育館	6日	109人	0円
教室	4日	36人	0円
グラウンド	2日	73人	0円

## 事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	<p>教育基本法 (第1条、第2条)</p> <p>学校教育法 (第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、 第74条、第76条、第77条、第82条)</p> <p>学校教育法施行規則</p> <p>学校保健安全法 (第5条)</p> <p>学校給食法 (第4条)</p> <p>特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律 (第3条)</p> <p>静岡県立学校設置条例</p> <p>静岡県立特別支援学校学則</p> <p>静岡県就学支援委員会規則</p> <p>特別支援学校小学部・中学部学習指導要領</p> <p>特別支援学校高等部学習指導要領</p>
2 学校の管理・運営に 関すること	<p>学校教育法 (第76条、第137条)</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (第33条)</p> <p>静岡県立学校管理規則</p> <p>教育公務員特例法 (第21条、第22条)</p> <p>学校保健安全法 (第7条、第8条、第9条、第15条、第27条)</p> <p>静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程</p> <p>静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱</p> <p>学校図書館法 (第3条、第4条)</p> <p>特別支援学校への就学奨励に関する法律</p> <p>特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令</p> <p>特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則</p> <p>特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金 交付要綱</p>

## 学 校 施 設 の 概 要

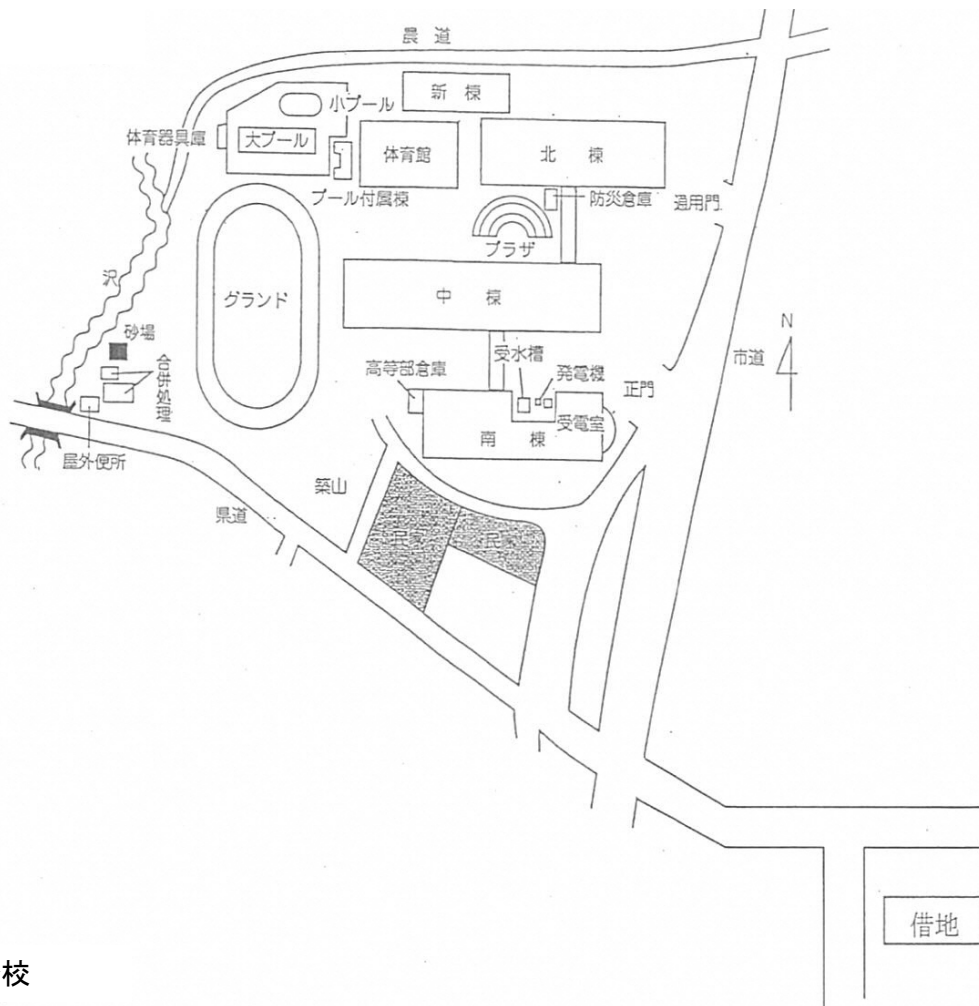
### 1 面積及び所有区分

(令和7年7月31日現在)

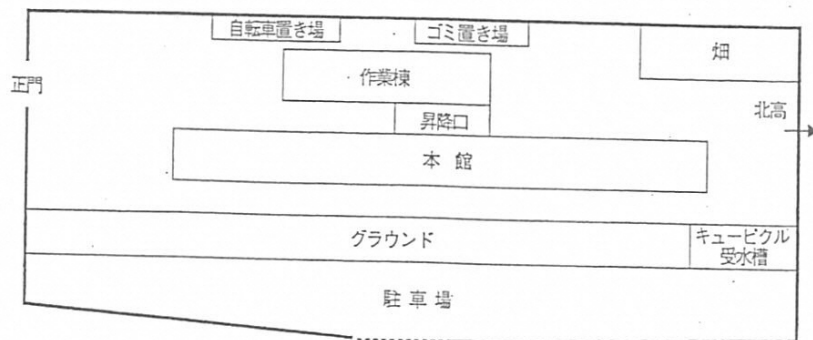
区 分	面 積 m <sup>2</sup>	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m <sup>2</sup>	国 有 m <sup>2</sup>	市町村有 m <sup>2</sup>	後援会有 m <sup>2</sup>	民 有 m <sup>2</sup>	
学 校 敷 地	25,443.01	24,149.01				1,294.00	本校 20,211.54m <sup>2</sup> 富士宮分校 5,043.26m <sup>2</sup> 富士東分校 179.00m <sup>2</sup> 9.21m <sup>2</sup> (富士東高使用承認)
内 訳	校 舎 敷 地	19,551.14	19,551.14				本校 14,507.88m <sup>2</sup> 富士宮分校 5,043.26m <sup>2</sup>
	運 動 場 敷 地	4,588.66	4,588.66				本校 4,588.66m <sup>2</sup>
	そ の 他 の 敷 地	1,303.21	9.21			1,294.00	本校 1,115.00m <sup>2</sup> 富士東分校 179.00m <sup>2</sup> 9.21m <sup>2</sup> (富士東高使用承認)
校 舎	建	5,422.39	5,422.39				本校 建 3,942.90m <sup>2</sup>
	延	10,134.12	10,134.12				延 8,264.79m <sup>2</sup> 富士宮分校 建 787.84m <sup>2</sup>
体 育 館	建	501.54	501.54				本校 建 501.54m <sup>2</sup>
	延	500.04	500.04				延 500.04m <sup>2</sup>
そ の 他 の 建 物	建	745.51	745.51				本校 建 717.95m <sup>2</sup>
	延	739.71	739.71				延 712.15m <sup>2</sup> 富士宮分校 建 27.56m <sup>2</sup>
プ ー ル	建						本校 大 25m×8m
	延						変形 11.075m×5m

2 配置・規模等

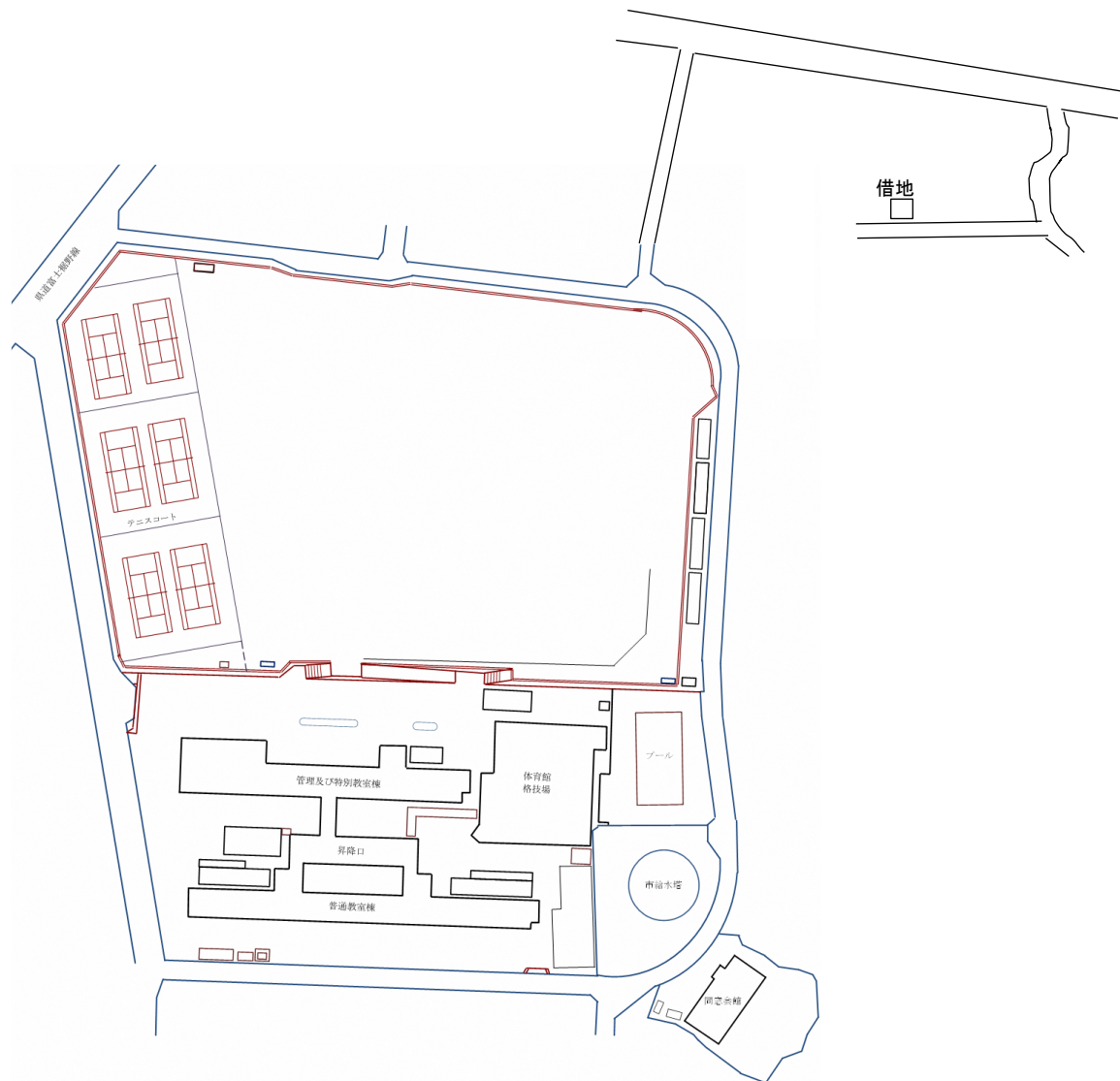
本校



富士宮分校



富士東分校



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
本校	19,096.54㎡	8,264.79㎡	4,588.66㎡
富士宮分校	5,043.26㎡	1,177.68㎡	0.00㎡
富士東分校	0.00㎡	691.65㎡	0.00㎡
県平均	19,266.88㎡	6,361.36㎡	5,302.07㎡

在籍児童生徒調

(令和7年7月31日現在)

学年 区分	課程	本校									訪問教育									本校合計				富士宮分校				富士東分校					
		小学部			中学部			高等部			小学部			中学部			高等部			本校合計				富士宮分校				富士東分校					
		男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1年	入学者	18	9	27	19	6	25	54	27	18	45	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	54	65	33	98	27	6	8	14	18	10	7	17
	増加	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0
	減少	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0
	現在	18	9	27	19	6	25		27	18	45	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	65	33	98		6	8	14	10	7	17		
2年	入学者	18	7	25	22	9	31	42	20	15	35	0	0	0	0	0	0	3	0	1	1	45	60	32	92	27	16	5	21	18	6	3	9
	増加		0	0	1	0	1		1	0	1	0	0	0	0	0	0		0	0	0		2	0	2		0	0	0		0	0	0
	減少	0	0	0	1	0	1		1	0	1	0	0	0	0	0	0		0	0	0		2	0	2		2	0	2		0	0	0
	2年生当初	18	7	25	22	9	31		20	15	35	0	0	0	0	0	0	0	1	1		60	32	92		14	5	19		6	3	9	
	増加	2	0	2	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		2	0	2		0	0	0		0	0	0
	減少	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0
現在	20	7	27	22	9	31		20	15	35	0	0	0	0	0	0	0	1	1		62	32	94		14	5	19		6	3	9		
3年	入学者	19	10	29	20	15	35	42	25	15	40	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	45	64	40	104	27	14	4	18	18	10	5	15
	増加	1	0	1	0	0	0		2	0	2	0	0	0	0	0	0		0	0	0		3	0	3		0	0	0		0	0	0
	減少	0	0	0	0	0	0		2	0	2	0	0	0	0	0	0		0	0	0		2	0	2		3	0	3		0	0	0
	2年生当初	20	10	30	20	15	35		25	15	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0		65	40	105		11	4	15		10	5	15	
	増加	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0
	減少	0	0	0	0	0	0		3	0	3	0	0	0	0	0	0		0	0	0		3	0	3		1	0	1		0	0	0
	3年生当初	20	10	30	20	15	35		22	15	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0		62	40	102		10	4	14		10	5	15	
	増加	1	0	1	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		1	0	1		0	0	0		0	0	0
減少	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0	
現在	21	10	31	20	15	35		22	15	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0		63	40	103		10	4	14		10	5	15		
4年	入学者	18	9	27								1	0	1								19	9	28									
	増加	1	0	1								0	0	0								1	0	1									
	減少	1	1	2								0	0	0								1	1	2									
	2年生当初	18	8	26								1	0	1								19	8	27									
	増加	0	0	0								0	0	0								0	0	0									
	減少	1	0	1								0	0	0								1	0	1									
	3年生当初	17	8	25								1	0	1								18	8	26									
	増加	0	1	1								0	0	0								0	1	1									
	減少	0	1	1								0	0	0								0	1	1									
	4年生当初	17	8	25								1	0	1								18	8	26									
増加	0	0	0								0	0	0								0	0	0										
減少	0	0	0								0	0	0								0	0	0										
現在	17	8	25								1	0	1								18	8	26										

在籍児童生徒調

(令和7年7月31日現在)

学年	課程 区分	本校									訪問教育									本校合計			富士宮分校			富士東分校					
		小学部			中学部			高等部			小学部			中学部			高等部			高等部			高等部								
		男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子
5年	入学者	15	9	24							0	0	0							15	9	24									
	増加	1	0	1							0	0	0							1	0	1									
	減少	0	0	0							0	0	0							0	0	0									
	2年生当初	16	9	25							0	0	0							16	9	25									
	増加	1	0	1							0	0	0							1	0	1									
	減少	2	0	2							0	0	0							2	0	2									
	3年生当初	15	9	24							0	0	0							15	9	24									
	増加	0	0	0							0	0	0							0	0	0									
	減少	0	0	0							0	0	0							0	0	0									
	4年生当初	15	9	24							0	0	0							15	9	24									
	増加	0	0	0							0	0	0							0	0	0									
	減少	1	0	1							0	0	0							1	0	1									
	5年生当初	14	9	23							0	0	0							14	9	23									
	増加	0	0	0							0	0	0							0	0	0									
	減少	0	0	0							0	0	0							0	0	0									
現在	14	9	23							0	0	0							14	9	23										
6年	入学者	14	10	24							0	0	0							14	10	24									
	増加	1	1	2							0	0	0							1	1	2									
	減少	0	2	2							0	0	0							0	2	2									
	2年生当初	15	9	24							0	0	0							15	9	24									
	増加	1	1	2							0	0	0							1	1	2									
	減少	1	0	1							0	0	0							1	0	1									
	3年生当初	15	10	25							0	0	0							15	10	25									
	増加	0	0	0							0	0	0							0	0	0									
	減少	0	0	0							0	0	0							0	0	0									
	4年生当初	15	10	25							0	0	0							15	10	25									
	増加	0	0	0							0	0	0							0	0	0									
	減少	0	0	0							0	0	0							0	0	0									
	5年生当初	15	10	25							0	0	0							15	10	25									
	増加	0	0	0							0	0	0							0	0	0									
	減少	0	0	0							0	0	0							0	0	0									
6年生当初	15	10	25							0	0	0							15	10	25										
増加	0	0	0							0	0	0							0	0	0										
減少	0	0	0							0	0	0							0	0	0										
現在	15	10	25							0	0	0							15	10	25										
合計	105	53	158	61	30	91				69	48	117	1	0	1	1	0	1	0	1	1	237	132	369	30	17	47	26	15	41	

## 入学志願者及び入学者数調

(本校)

区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
学 科 別		高等部	高等部	高等部	高等部	高等部
生徒定員 (A)		54	45	45	45	54
募集定員 (B)		54	45	45	45	54
志願者数	男	30 (0)	25 (0)	26 (0)	19 (1)	28 (0)
	女	19 (0)	15 (0)	15 (0)	16 (0)	18 (0)
	計 (C)	49 (0)	40 (0)	41 (0)	35 (1)	46 (0)
受検者数	男	30 (0)	25 (0)	26 (0)	19 (1)	28 (0)
	女	19 (0)	15 (0)	15 (0)	16 (0)	18 (0)
	計 (D)	49 (0)	40 (0)	41 (0)	35 (1)	46 (0)
合格者数	男	30 (0)	25 (0)	26 (0)	19 (1)	28 (0)
	女	19 (0)	15 (0)	15 (0)	16 (0)	18 (0)
	計 (E)	49 (0)	40 (0)	41 (0)	35 (1)	46 (0)
志願倍率 (C)/(B)		0.91	0.89	0.91	0.78	0.85
受検倍率 (D)/(B)		0.91	0.89	0.91	0.78	0.85
入学者数	男	30	25	26	20	27
	女	19	15	15	16	18
	計 (F)	49	40	41	36	45
充足率 (F)/(A)		0.91	0.89	0.91	0.80	0.83

(富士宮分校)

区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
学 科 別		高等部	高等部	高等部	高等部	高等部
生徒定員 (A)		27	27	27	27	27
募集定員 (B)		27	27	27	27	27
志願者数	男	16 (0)	15 (0)	14 (0)	16 (0)	6 (0)
	女	7 (0)	11 (0)	4 (0)	5 (0)	8 (0)
	計 (C)	23 (0)	26 (0)	18 (0)	21 (0)	14 (0)
受検者数	男	16 (0)	15 (0)	14 (0)	16 (0)	6 (0)
	女	7 (0)	11 (0)	4 (0)	5 (0)	8 (0)
	計 (D)	23 (0)	26 (0)	18 (0)	21 (0)	14 (0)
合格者数	男	16 (0)	15 (0)	14 (0)	16 (0)	6 (0)
	女	7 (0)	11 (0)	4 (0)	5 (0)	8 (0)
	計 (E)	23 (0)	26 (0)	18 (0)	21 (0)	14 (0)
志願倍率 (C)/(B)		0.85	0.96	0.67	0.78	0.52
受検倍率 (D)/(B)		0.85	0.96	0.67	0.78	0.52
入学者数	男	16	15	14	16	6
	女	7	11	4	5	8
	計 (F)	23	26	18	21	14
充足率 (F)/(A)		0.85	0.96	0.67	0.78	0.52

入学志願者及び入学者数調

(富士東分校)

区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
学 科 別		高等部	高等部	高等部	高等部	高等部
生徒定員 (A)				18	18	18
募集定員 (B)				18	18	18
志願者数	男			10 (0)	6 (0)	10 (0)
	女			5 (0)	3 (0)	7 (0)
	計 (C)			15 (0)	9 (0)	17 (0)
受検者数	男			10 (0)	6 (0)	10 (0)
	女			5 (0)	3 (0)	7 (0)
	計 (D)			15 (0)	9 (0)	17 (0)
合格者数	男			10 (0)	6 (0)	10 (0)
	女			5 (0)	3 (0)	7 (0)
	計 (E)			15 (0)	9 (0)	17 (0)
志願倍率 (C)/(B)				0.83	0.50	0.94
受検倍率 (D)/(B)				0.83	0.50	0.94
入学者数	男			10	6	10
	女			5	3	7
	計 (F)			15	9	17
充足率 (F)/(A)				0.83	0.50	0.94

## 卒業生の動向調

区 分		中学部	高 等 部						合 計
			本 校		富士宮分校		富士東分校		
			本科	専攻科	本科	専攻科	本科	専攻科	
高等学校 (本科)	全日制	0	/	/	/	/	/	/	0
	定時制	0	/	/	/	/	/	/	0
	通信制	0	/	/	/	/	/	/	0
特別支援学校高等部		34	/	/	/	/	/	/	34
その他高等学校等		0	/	/	/	/	/	/	0
大学等	大学(学部)	/	0	/	0	/	/	/	0
	短期大学(本科)	/	0	/	0	/	/	/	0
	大学・短大の 通信教育学部等	/	0	/	0	/	/	/	0
	その他大学等	/	0	/	0	/	/	/	0
特別支援学校高等部専攻科		/	0	/	0	/	/	/	0
専修学校(専門課程)		0	0	/	0	/	/	/	0
専修学校(一般課程)・各種学校		0	0	/	0	/	/	/	0
公共職業能力開発施設等		0	0	/	0	/	/	/	0
就 職		0	5	/	20	/	/	/	25
上記以外※		1	35	/	6	/	/	/	42
不詳・死亡		0	0	/	0	/	/	/	0
計(卒業生総数)		35	40	/	26	/	/	/	101

(再掲) 「上記以外※」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区 分		中学部	高 等 部						合 計
			本 校		富士宮分校		富士東分校		
			本科	専攻科	本科	専攻科	本科	専攻科	
児童福祉施設		0	0	/	0	/	/	/	0
障害者支援施設		1	35	/	6	/	/	/	42
(うち就労系支援事業利用者)		(0)	(22)	/	(6)	/	/	/	(28)
医療機関		0	0	/	0	/	/	/	0
計		1	35	/	6	/	/	/	42

# 生徒の状況

## 1 児童生徒の出身地域及び通学方法

### (1) 出身地

＜本校＞ (令和7年7月31日現在) (単位：人)

市町名	富士市	富士宮市	その他	合計
児童生徒数	255	111	0	366
構成比%	69.7%	30.3%	0.0%	100%

※訪問教育は除く

＜富士宮分校＞

市町名	富士市	富士宮市	合計
生徒数	8	39	47
構成比%	17.0%	83.0%	100.0%

＜富士東分校＞

市町名	富士市	合計
生徒数	41	41
構成比%	100.0%	100.0%

### (2) 通学方法

＜本校＞ (令和7年7月31日現在) (単位：人)

区分	スクールバス	交通機関	保護者の送迎	徒歩	自転車	合計
児童生徒数	131	33	193	8	1	366
構成比%	35.8%	9.0%	52.7%	2.2%	0.3%	100%

※訪問教育は除く

＜富士宮分校＞

区分	交通機関	徒歩	自転車	合計
生徒数	24	16	7	47
構成比%	51.1%	34.0%	14.9%	100%

＜富士東分校＞

区分	交通機関	保護者の送迎	徒歩	自転車	合計
生徒数	21	1	10	9	41
構成比%	51.2%	2.4%	24.4%	22.0%	100%

### (3) 訪問教育の状況 (令和7年7月31日現在) (単位：人)

訪問教員等		市町	富士市	合計
小・中 学部	教諭	1	小学部	1
	教諭(任・臨)	0	中学部	1
高等部	教諭	1	高等部	1
	教諭(任・臨)	0		
計		2	計	3

2 部（クラブ）の加入状況

<本校> 高等部 (令和7年7月31日現在) (単位：人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		1	1		2
男子	1 年	1	0	26	27
	2 年	1	0	19	20
	3 年	5	3	14	22
	計 (A)	7	3	59	69
	構成比	10.1%	4.4%	85.5%	100%
女子	1 年	0	1	17	18
	2 年	0	0	15	15
	3 年	0	5	10	15
	計 (B)	0	6	42	48
	構成比	0.0%	12.5%	87.5%	100%
合計	(A+B)	7	9	101	117
	構成比	6.1%	7.7%	86.3%	100%

<富士宮分校> 高等部

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		2	3		5
男子	1 年	1	5	0	6
	2 年	6	8	0	14
	3 年	5	5	0	10
	計 (A)	12	18	0	30
	構成比	40.0%	60.0%	0.0%	100%
女子	1 年	2	6	0	8
	2 年	2	3	0	5
	3 年	3	1	0	4
	計 (B)	7	10	0	17
	構成比	41.2%	58.8%	0.0%	100%
合計	(A+B)	19	28	0	47
	構成比	40.4%	59.5%	0.0%	100%

<富士東分校> 高等部

小・中学部		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		2	1		3
男子	1 年	7	0	3	10
	2 年	4	0	2	6
	3 年	6	1	3	
	計 (A)	17	1	8	26
	構成比	65.3%	3.8%	30.8%	100%
女子	1 年	3	3	1	7
	2 年	0	3	0	3
	3 年	4	1	0	
	計 (B)	7	7	1	15
	構成比	46.7%	46.7%	6.7%	100%
合計	(A+B)	24	8	9	41
	構成比	58.6%	19.5%	22.0%	100%

3 障害別児童生徒数

＜本校＞ (令和7年7月31日現在) (単位：人)

区 分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計	学 級 数
小学部	単一障害	16	14	19	8	11	14	82	17
	重複障害	7	7	8	11	10	7	50	16
	肢体重複	4	6	4	6	2	4	26	11
	合 計	27	27	31	25	23	25	158	44
中学部	単一障害	17	19	18				54	10
	重複障害	7	8	11				26	8
	肢体重複	1	4	6				11	5
	合 計	25	31	35				91	23
高等部	単一障害	38	31	33				102	13
	重複障害	3	3	3				9	3
	肢体重複	4	1	1				6	4
	合 計	45	35	37				117	20

＜富士宮分校＞

区 分		1年	2年	3年	合 計	学 級 数
高等部	単一障害	14	19	14	47	7
	重複障害	0	0	0	0	0
	肢体重複	0	0	0	0	0
	合 計	14	19	14	47	7

＜富士東分校＞

区 分		1年	2年	3年	合 計	学 級 数
高等部	単一障害	17	9	15	41	5
	重複障害	0	0	0	0	0
	肢体重複	0	0	0	0	0
	合 計	17	9	15	41	5

4 起因疾患別児童生徒数

＜本校＞ (令和7年7月31日現在) (単位：人)

区 分	脳・神経系疾患						遺伝子疾患		その他の疾患			発 達 障 害	そ の 他	計
	脳 性 マ ヒ	て ん か ん	水 頭 症	小 頭 症	脳 炎 ・ 脳 症 後 遺 症	そ の 他	ダ ウ ン 症 候 群	そ の 他	代 謝 異 常	心 ・ 血 液 系 疾 患	そ の 他			
小学部	7	5	1	0	7	4	15	12	0	0	0	93	14	158
中学部	4	1	0	0	4	1	19	8	0	0	0	49	5	91
高等部	6	3	1	0	1	0	17	5	0	0	0	62	22	117
訪 問	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3
計	17	9	2	0	12	6	51	26	0	0	0	205	41	369

＜富士宮分校＞

高等部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	35	47
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

＜富士東分校＞

高等部	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	17	22	41
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

4 起因疾患別児童生徒数

<本校>

(令和7年7月31日現在) (単位:人)

	区分	脳・神経系疾患						遺伝子疾患		その他の疾患			発達障害	その他	計		
		脳性マヒ	てんかん	水頭症	小頭症	脳炎・脳症後遺症	その他	ダウン症候群	その他	代謝異常	心・血液系疾患	その他					
小学部	1年	A	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	4	
		B	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	20	0	23	
	2年	A	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	2	0	6	
		B	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	17	1	21	
	3年	A	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
		B	0	1	0	0	0	0	4	2	0	0	0	16	4	27	
	4年	A	1	1	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	6	
		B	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	12	3	19	
	5年	A	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
		B	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	15	3	21	
	6年	A	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4	
		B	1	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	11	3	21	
	小計			7	5	1	0	7	4	15	12	0	0	0	93	14	158
	中学部	1年	A	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B			1	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	17	1	24	
2年		A	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	4	
		B	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	20	1	27	
3年		A	1	0	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	6	
		B	1	0	0	0	0	0	11	2	0	0	0	12	3	29	
小計			4	1	0	0	4	1	19	8	0	0	0	49	5	91	
高等部	1年	A	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
		B	1	0	0	0	1	0	6	3	0	0	0	21	9	41	
	2年	A	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		B	1	2	0	0	0	0	7	2	0	0	0	16	6	34	
	3年	A	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		B	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	25	7	36	
小計			6	3	1	0	1	0	17	5	0	0	0	62	22	117	
訪問	訪問		0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3	
計			17	9	2	0	12	6	51	26	0	0	0	205	41	369	
<富士宮分校>																	
宮分	高等部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	35	47	
<富士東分校>																	
東分	高等部		0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	17	22	41	

特別支援学校における生産物売払調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

【本校】

	主な生産品目			
7 年 度	<紙工品>はがき、一筆箋、ランプシェード、祝儀袋 <機械加工品>椅子、踏み台 <陶芸品>マグネット、中皿、小皿、中深皿、箸置き <クラフト品>季節リース、かご 小、 <リサイクル品>油捨てパック <農作物>じゃがいも、ズッキーニ、ピーマン、シシトウ <縫製品>コースター、ランチョンマット、名刺ケース、ティッシュケース、 巾着袋、ペンケース			
	① 売払金額	55,000 円	② 令和6年度との差額	△405,580 円
6 年 度	<紙工品>はがき、祝儀袋、一筆箋、ランプシェード、 <機械加工品>ミニ椅子、椅子、ミニトレイ、トレイ <陶芸品>小皿、中皿、中深皿、大皿、箸置き、マグネット <クラフト品>かご 小、かご 中、かご 大、かご 特大 <リサイクル品>油捨てパック <農作物>じゃがいも、ミニダイコン、ダイコン、にんにく、茎ブロッコリー <縫製品>コースター、ティッシュケース、くるみボタンのヘアゴム (大)(中)(小)、くるみボタンのブローチ、織物ストール、ポストカード、ラン チバッグ、名刺ケース、ランチョンマット			
	① 売払金額	460,580 円	② 令和5年度との差額	167,540 円
5 年 度	<機械加工品>椅子、ミニ椅子、ひのきチップ、マグネット 小、マグネット 大、トレイ <陶芸品>小皿、中皿、大皿、豆皿、中深皿、箸置き、マグネット <クラフト品>かご 小、小物、かご 中、かご 特大、かご 大 <リサイクル品>油捨てパック <農作物>じゃがいも、にんにく、ミニダイコン、ブロッコリー、茎ブロッコ リー、サツマイモ、ダイコン <縫製品>コースター、ランチョンマット、ティッシュカバー、フリークロス、 ポストカード、ポーチ、ランチバッグ			
	① 売払金額	293,040 円	② 令和4年度との差額	37,000 円

【富士宮分校】

	主な生産品目		
7 年 度	<陶芸品>中皿、カップ(小)、ぷちりん挿し <木工品>カッティングボード大小、鍋敷き、コースター <農作物・園芸品>たまねぎ、大根、なす、きゅうり、ピーマン		
	③ 売払金額	10,550 円	④ 令和5年度との差額 △158,350 円
6 年 度	<陶芸品>中皿、カップ (大)(小)、ぷちりん挿し <縫製品>フェルト絵本、ボタンつなぎ <木工品>箸、ひのきBOX、鍋敷き、コースター、スマホスピーカー、カッティングボード 大小、スマホスタンド <レザー製品>ネームホルダー、ネームホルダー用ストラップ、ストラップ、キーホルダー、ペン立て1本用2本用、スマホポーチ、パズルチャーム、筆箱 <農作物・園芸品>きゅうり、なす、ピーマン、にんにく、大根、ミニ白菜、ほうれん草、春菊、リーフレタス、さつまいも		
	③ 売払金額	168,900 円	④ 令和6年度との差額 △163,100 円
5 年 度	<陶芸品>カップ (大)、カップ (小)、ぷちりん挿し、中皿 <縫製品>フェルトドーナツ、ボタンつなぎ、フェルト絵本 <木工品>スマホスピーカー、スマホスタンド、カッティングボード (大)、カッティングボード (小)、コースター、カフェトレイ、ランチトレイ <レザー製品>ネームホルダー、カードケース、スマホポーチ、ペン立て、小物入れ、ストラップ <農作物・園芸品>ピーマン、きゅうり、いんげん、モロヘイヤ、なす、春菊、ほうれん草、大根、かぶ、ミニ白菜、とうがらし		
	③ 売払金額	332,000 円	④ 令和4年度との差額 △102,500 円

【富士東分校】

	主な生産品目		
7 年 度	<クラフト品>バスケット、アニマルかご、ヘアゴム、かごバッグ <農作物>白ナス、ミニトマト、ピーマン <その他>脱臭・消臭剤		
	⑤ 売払金額	43,300 円	⑥ 令和6年度との差額 △70,500 円
6 年 度	<クラフト品>バスケット、アニマルかご、プチかご、ヘアゴム <農作物>大根、ミニトマト、中玉トマト、白ナス、ピーマン、オクラ		
	⑤ 売払金額	113,800 円	⑥ 令和5年度との差額 84,600 円
5 年 度	<クラフト品>バスケット、アニマルかご、ペン立て		
	⑤ 売払金額	29,200 円	⑥ 令和4年度との差額

預 金 調

(令和7年7月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
富士伊豆 農業協同組合 大淵支店	無利息型 普通預金	0092497	富士特別支援学校 資金前渡者 高田 宗享	0	職員給与用
スルガ銀行 富士吉原支店	無利息型 普通預金	2864183	(自振口)富士特別支援学校 資金前渡者 高田 宗享	0	電気料、電話料、社 会保険料等の口座振 替用
富士伊豆 農業協同組合 大淵支店	無利息型 普通預金	0093014	静岡県立富士特別支援学校 奨励費代理受領者 高田 宗享	0	就学奨励費用
残 高 合 計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和7年7月31日現在)

(単位：枚、円)

区 分	種 類	令和6年度						令和7年度						摘 要			
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高		
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額	
郵 券	1円券	15	15	0	0	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	書類等 送付用
	2円券	21	42	0	0	21	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	10円券	37	370	0	0	37	370	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	50円券	5	250	0	0	5	250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	84円券	18	1,512	0	0	18	1,512	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	92円券	18	1,656	0	0	18	1,656	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	120円券	3	360	0	0	3	360	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	140円券	12	1,680	0	0	12	1,680	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	280円券	10	2,800	0	0	10	2,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	50円往復 はがき	1	100	0	0	0	0	1	100	0	0	0	0	0	1	100	
	62円はがき	2	124	0	0	0	0	2	124	0	0	0	0	0	2	124	
レターパッ ク ク ライ ト	0	0	1	430	1	430	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計		/	8,909	/	430	/	9,115	/	224	/	0	/	0	/	224		

## 材 料 品 受 払 調

(令和7年7月31日現在)

区分 品名	令和6年度						令和7年度						差引現在高 摘 要		
	繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額		数量	金額
粘土	0	0	9	46,101	9	46,101	0	0	0	0	0	0	0	0	本校
紙バンド	0	0	66	54,087	66	54,087	0	0	33	27,373	33	27,373	0	0	本校
粘土	0	0	5	57,013	5	57,013	0	0	3	16,995	3	16,995	0	0	富士宮分校
革	0	0	21	65,049	21	65,049	0	0	0	0	0	0	0	0	富士宮分校
紙バンド	0	0	0	0	0	0	0	0	23	19,178	23	19,178	0	0	富士東分校
計	0	0	101	222,250	101	222,250	0	0	59	63,546	59	63,546	0	0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					5年度	6年度	左のうち、 5年度からの 繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		86,583,970	
			学校教育費	健康体育費		17,841,586	
計					104,628,192	104,425,556	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		8,360,000	
計					6,391,000	8,360,000	0
(16) 公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		2,071,084	
計					4,023,332	2,071,084	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		65,700	
計					75,800	65,700	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年7月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、6年度 からの繰越額 分
(12) 委託料	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	22,075,284	0
			学校教育費	健康体育費	4,450,582	0
計					26,525,866	0
(14) 工事請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	1,163,800	0
計					1,163,800	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	59,850	0
計					59,850	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

# 委 託 料 に 関 す る 調

(令和6年度)

整理 番号	委 託 業務名	受 託 者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契 約 期 間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
1	(事務関係) 通学バス 輸送業務	富士急静岡バス (株)鷹岡営業 所	円 80,320,900	円 79,623,500	円 0	円 79,623,500	一般	自R6. 4. 1 R6. 5. 31 R6. 6. 28 R6. 7. 31 R6. 8. 30 R6. 9. 30 R6. 10. 31 R6. 11. 29 R6. 12. 26 R7. 1. 31 R7. 2. 28 R7. 3. 31 至R7. 3. 31	円 6,635,288 6,635,288 6,635,288 6,635,288 6,635,288 6,635,288 6,635,288 6,635,288 6,635,288 6,635,288 6,635,288 6,635,332 小 計 79,623,500	児童生徒の通 学バス輸送業 務 (5台)	一般	
2	学校給食 業務	シダックス大 新東ヒューマ ンサービス (株)中部第二 支店	56,262,712	41,272,000	20,636	41,292,636	一般	自R6. 3. 7 R6. 5. 31 R6. 6. 28 R6. 7. 31 R6. 8. 30 R6. 9. 30 R6. 10. 31 R6. 11. 29 R6. 12. 26 R7. 1. 31 R7. 2. 28 R7. 3. 31 至R8. 7. 31	(1,422,960) 1,423,180 1,423,862 1,423,521 1,423,521 1,423,521 1,423,521 1,423,521 1,423,521 1,423,521 1,423,521 1,423,521 1,423,521 小 計 17,082,252	学校給食調理 (配膳)業務	5長期	
3	スクール バス運行 管理業務	大新東(株)静岡 営業所	17,638,654	15,404,400	0	15,404,400	一般	自R6. 4. 1 R6. 5. 31 R6. 6. 28 R6. 7. 31 R6. 8. 30 R6. 9. 30 R6. 10. 31 R6. 11. 29 R6. 12. 26 R7. 1. 31 R7. 2. 28 R7. 3. 31 至R9. 3. 31	427,900 427,900 427,900 427,900 427,900 427,900 427,900 427,900 427,900 427,900 427,900 427,900 427,900 小 計 5,134,800	スクールのバス の運行管理業 務(1台)	6長期	
4	昇降機保 守管理業 務	フジテック(株) 静岡支店	897,600	897,600	0	897,600	随契	自R6. 4. 1 R6. 5. 31 R6. 6. 28 R6. 7. 31 R6. 8. 30 R6. 9. 30 R6. 10. 31 R6. 11. 29 R6. 12. 26 R7. 1. 31 R7. 2. 28 R7. 3. 31 至R7. 3. 31	70,400 70,400 70,400 96,800 70,400 70,400 70,400 70,400 70,400 70,400 96,800 70,400 70,400 小 計 897,600	エレベーター 設備の保守点 検業務(2台)	随契2号 (不適)	
5	給食可燃 物収集運 搬処分業 務	㈱クリーンコ ントロール サービス	429,300	429,300	0	429,300	随契	自R6. 4. 9 R6. 5. 31 R6. 6. 28 R6. 7. 31 R6. 8. 30 R6. 10. 31 R6. 11. 29 R6. 12. 26 R7. 1. 31 R7. 2. 28 R7. 3. 31 至R7. 3. 31	35,460 44,100 43,770 32,760 42,930 47,490 43,080 29,505 39,045 38,850 25,260 小 計 422,250	給食可燃物 (生ごみ、紙 くず)の収集 運搬処分業務	随契1号 (少額) 単価契約	

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
6	給食不燃物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	155,760	155,760	19,800	175,560	随契	自R6. 4. 12 至R7. 3. 31	R6. 5. 31 R6. 6. 28 R6. 7. 31 R6. 8. 30 R6. 10. 31 R6. 11. 29 R6. 12. 26 R7. 1. 31 R7. 2. 28 R7. 3. 31 R7. 4. 30 小計	12,276 19,338 15,708 12,804 15,510 14,520 18,744 11,616 14,586 15,444 11,088 161,634	給食不燃物(廃プラスチック類)の収集運搬処分業務	随契1号(少額)単価契約
7	防鼠防虫業務	㈱アルバイン・エンタープライズ	94,820	94,820	0	94,820	随契	自R6. 4. 9 至R7. 3. 31	R6. 10. 31 R7. 4. 30 小計	47,410 47,410 94,820	防鼠・防虫業務	随契1号(少額)
8	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	92,400	92,400	0	92,400	随契	自R6. 10. 25 至R7. 1. 31	R6. 12. 26	92,400	産業廃棄物の収集・運搬・処分業務	随契1号(少額)
9	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	371,250	371,250	0	371,250	随契	自R6. 11. 6 至R7. 1. 31	R6. 12. 26	371,250	産業廃棄物の収集・運搬・処分業務	随契1号(少額)
10	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	92,400	92,400	0	92,400	随契	自R6. 11. 11 至R7. 1. 31	R6. 12. 26	92,400	産業廃棄物の収集・運搬・処分業務	随契1号(少額)
11	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	92,400	92,400	0	92,400	随契	自R6. 11. 20 至R7. 1. 31	R6. 12. 26	92,400	産業廃棄物の収集・運搬・処分業務	随契1号(少額)
12	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	92,400	92,400	0	92,400	随契	自R7. 1. 20 至R7. 3. 31	R7. 4. 17	92,400	産業廃棄物の収集・運搬・処分業務	随契1号(少額)
13	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	92,400	92,400	0	92,400	随契	自R7. 3. 4 至R7. 3. 31	R7. 4. 17	92,400	産業廃棄物の収集・運搬・処分業務	随契1号(少額)
14	雑排水管・グリストラップ等清掃及び産業廃棄物収集・運搬業務	三友水処理㈱	80,300	80,300	0	80,300	随契	自R6. 8. 7 至R6. 11. 15	R6. 9. 19	80,300	雑排水管・グリストラップ清掃に伴う汚泥収集・運搬業務	随契1号(少額)
15	雑排水管・グリストラップ等清掃及び産業廃棄物収集・運搬業務	三友水処理㈱	80,300	80,300	0	80,300	随契	自R7. 2. 18 至R7. 3. 31	R7. 4. 14	80,300	雑排水管・グリストラップ清掃に伴う汚泥収集・運搬業務	随契1号(少額)
16	グリストラップ槽汚泥処分業務	クリーンサービス㈱	8,250	8,250	0	8,250	随契	自R6. 8. 7 至R6. 11. 15	R6. 10. 11	7,425	グリストラップ清掃に伴う汚泥処分業務	随契1号(少額)単価契約
17	グリストラップ槽汚泥処分業務	クリーンサービス㈱	8,250	8,250	0	8,250	随契	自R7. 2. 18 至R7. 3. 31	R7. 4. 17	7,425	グリストラップ清掃に伴う汚泥処分業務	随契1号(少額)単価契約
	事務関係計	17件	156,810,096	138,887,730	40,436	138,928,166				104,425,556		
	合計	17件	156,810,096	138,887,730	40,436	138,928,166				104,425,556		
参考1	機械警備業務	セコム㈱		5,808,000	391,710	6,199,710		自R1. 10. 1 至R6. 9. 30			富士高校外9校の機械警備業務	1長期富士高校
参考2	機械警備業務	セコム㈱		17,424,000	0	17,424,000		至R6. 10. 1 至R11. 9. 30			富士高校外10校の機械警備業務	6長期富士高校

整理 番号	委 託 業務名	受 託 者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契 約 期 間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
参考 3	自家用電 気工作物 保安管理 業務	加藤電気管理 事務所		2,572,680	0	2,572,680		自R6. 4. 1 至R7. 3. 31			吉原工業高校 外5校の電気 工作物の保安 管理点検業務	吉原工業高校
参考 4	消防用設 備等保守 点検業務	サンコー防災機		13,376,000	0	13,376,000		自R6. 4. 1 至R7. 3. 31			富士宮東高校 外9校の消防 設備等保守点 検業務	富士宮東高校
参考 5	プール浄 化装置保 守点検業 務	(有)石川メン テナンス		207,900	0	207,900		自R6. 4. 12 至R6. 10. 31			富士東高校外 8校のプール 浄化装置保守 点検業務	富士東高校
参考 6	浄化槽保 守点検業 務	(有)石川メン テナンス		590,700	0	590,700		自R6. 4. 1 至R7. 3. 31			富士宮西高校 外2校の浄化 槽保守点検業 務	富士宮西高校
参考 7	可燃物取 集運搬処 分業務	(有)東亜美装		単価契約 運搬料1回につき 21,258円 処分料1kg15円	0	単価契約 運搬料1回につき 21,258円 処分料1kg15円		自R6. 4. 5 至R7. 3. 28			吉原高校外4 校の可燃物取 集運搬処分業 務	吉原高校 単価契約
参考 8	可燃物取 集運搬処 分業務	(株)静岡総合 処理センター		単価契約 運搬料1回につき 4,400円 処分料1kg15円	0	単価契約 運搬料1回につき 4,400円 処分料1kg15円		自R6. 4. 8 至R7. 3. 31			富士宮西高校 外4校の可燃 物収集運搬処 分業務	富士宮西高校 単価契約
参考 9	ガスヒー トポンプ 点検業務	(株)ユアーズ 静岡		1,279,300	0	1,279,300		自R6. 6. 3 至R6. 8. 26			富士宮北高校 外5校のガス ヒートポンプ 点検業務	富士宮北高校
参考 10	富士・富 士宮地区 県立学校 定期点検 業務	㈱平柳建築設 計事務所		3,263,700	0	3,263,700		自R6. 8. 15 至R7. 2. 28			建築基準法第 12条に基づく 建築及び建築 設備の定期点 検業務	富士東高校
	計	10件										

委託料に関する調

(令和7年度)  
(令和7年7月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 通学バス輸送業務	富士急静岡バス(株)藤岡営業所	82,097,334	81,925,536	0	81,925,536	一般	自R7.4.1 至R8.3.31	R7.5.30 R7.6.30 R7.7.31 小計	6,827,128 6,827,128 6,827,128 20,481,384	児童生徒の通学バス輸送業務(5台)	一般
2	学校給食業務	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)中部第二支店	56,262,712	41,272,000	20,636	41,292,636	一般	自R6.3.7 至R8.7.31	R7.5.30 R7.6.30 R7.7.31 小計	(18,505,212) 1,424,214 1,424,214 1,424,214 4,272,642	学校給食調理(配膳)業務	5長期
3	スクールバス運行管理業務	大新東(株)静岡営業所	17,638,654	15,404,400	0	15,404,400	一般	自R6.4.1 至R9.3.31	R7.5.30 R7.6.30 R7.7.31 小計	(5,134,800) 427,900 427,900 427,900 1,283,700	スクールバスの運行管理業務(1台)	6長期
4	昇降機保守管理業務	フジテック(株)静岡支店	924,000	924,000	0	924,000	随契	自R7.4.1 至R8.3.31	R7.5.30 R7.6.30 R7.7.31 小計	72,600 72,600 72,600 217,800	エレベーター設備の保守点検業務(2台)	随契2号(不適)
5	給食可燃物収集運搬処分業務	㈱グリーンコントロールサービス	470,000	470,000	0	470,000	随契	自R7.4.10 至R8.3.31	R7.5.30 R7.6.30 R7.7.31 小計	35,270 48,220 49,955 133,445	給食可燃物(生ごみ、紙くず)の収集運搬処分業務	随契1号(少額)単価契約
6	給食不燃物収集運搬処分業務	㈱グリーンコントロールサービス	152,900	152,900	0	152,900	随契	自R7.4.11 至R8.3.31	R7.5.30 R7.6.30 R7.7.31 小計	10,835 18,425 15,235 44,495	給食不燃物の収集運搬処分業務	随契1号(少額)単価契約
7	防鼠防虫業務	㈱アルバイン・エンタープライズ	94,820	94,820	0	94,820	随契	自R7.4.10 至R8.3.31			防鼠・防虫業務	随契1号(少額)
8	雑排水管・グリストラップ等清掃及び産業廃棄物収集・運搬業務	三友水処理(株)	88,000	88,000	0	88,000	随契	自R7.7.22 至R7.10.31			雑排水管・グリストラップ清掃に伴う汚泥収集・運搬業務	随契1号(少額)
9	グリストラップ槽汚泥処分業務	クリーンサービス(株)	8,250	8,250	0	8,250	随契	自R7.7.22 至R7.10.31			グリストラップ清掃に伴う汚泥処分業務	随契1号(少額)単価契約
10	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱グリーンコントロールサービス	92,400	92,400	0	92,400	随契	自R7.4.3 至R7.8.29	R7.6.17	92,400	産業廃棄物の収集・運搬・処分業務	随契1号(少額)
11	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱グリーンコントロールサービス	92,400	92,400	0	92,400	随契	自R7.5.20 至R7.12.26			産業廃棄物の収集・運搬・処分業務	随契1号(少額)
	事務関係計	11件	157,921,470	140,524,706	20,636	140,545,342				26,525,866		
	合計	11件	157,921,470	140,524,706	20,636	140,545,342				26,525,866		
参考1	機械警備業務	セコム(株)		17,424,000	0	17,424,000		自R6.10.1 至R11.9.30			富士高校外10校の機械警備業務	6長期 富士高校
参考2	自家用電気工作物保安管理業務	加藤電気管理事務所		2,633,400	0	2,633,400		自R7.4.1 至R8.3.31			吉原工業高校外5校の電気工作物の保安管理点検業務	吉原工業高校
参考3	消防用設備等保守点検業務	サンコー防災(株)		13,246,200	386,200	13,632,400		自R7.4.1 至R8.3.31			富士宮東高校外9校の消防設備等保守点検業務	富士宮東高校

整理 番号	委 託 業務名	受 託 者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契 約 期 間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
参 考 4	プール浄 化装置保 守点検業 務	(有)石川メン テナンス		227,700	0	227,700		自R7. 4. 15 至R7. 10. 31			富士東高校 外8校の プール浄化 装置保守点 検業務	富士東高校
参 考 5	浄化槽保 守点検業 務	(有)石川メン テナンス		618,200	0	618,200		自R7. 4. 1 至R8. 3. 31			富士宮西高 校外2校の 浄化槽保守 点検業務	富士宮西高校
参 考 6	可燃物収 集運搬処 分業務	(株)静岡総合 処理センター		単価契約 運搬料1回につき 21,252円 処分料1kg15円	0	単価契約 運搬料1回につき 21,252円 処分料1kg15円		自R7. 4. 8 至R8. 3. 31			吉原高校外 4校の可燃 物収集運搬 処分業務	吉原高校 単価契約
参 考 7	可燃物収 集運搬処 分業務	(有)東亜美装		単価契約 運搬料1回につき 4,345円 処分料1kg15円	0	単価契約 運搬料1回につき 4,345円 処分料1kg15円		自R7. 4. 8 至R8. 3. 31			富士宮西高 校外4校の 可燃物収集 運搬処分業 務	富士宮西高校 単価契約
参 考 8	ガスヒー トポンプ 点検業務	(株)ユアーズ 静岡		1,320,000	0	1,320,000		自R7. 5. 22 至R7. 8. 29			富士宮北高 校外5校の ガスヒート ポンプ点検 業務	富士宮北高校
	計	8件										

## 負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
					円	
1	富士地区安全運転管理協会年会費	富士地区安全運転管理協会会長	会則による	安全運転管理に関する啓発、広報	25,000	6.4.24
2	第47回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会参加費	第47回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会四国(香川)大会実行委員長	会則による	第47回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会	3,000	6.7.26
3	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会長	会則による	知的障害教育振興並びに会員の研修	5,000	6.7.31
4	安全運転管理者講習会手数料	一般社団法人静岡県安全運転管理協会	会則による	安全運転管理に関する啓発、広報	4,500	6.8.27
5	特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	会則による	特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会受講	13,200	6.10.31
6	全国特別支援学校知的障害教育校長会会費	全国特別支援学校知的障害教育校長会	会則による	知的障害教育振興並びに会員の研修	15,000	6.11.26
計		6件			65,700	

## 負担金支出調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
					円	
1	富士地区安全運転管理協会年会費	富士地区安全運転管理協会会長	会則による	安全運転管理に関する啓発、広報	25,000	7.4.24
2	特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	会則による	特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会受講	13,750	7.6.2
3	甲種防火管理新規講習受講料	一般財団法人日本防火・防災協会	会則による	甲種防火管理者新規資格取得講習	8,000	7.6.9
4	第48回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会参加費	第48回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会関東甲信越(埼玉)大会実行委員長	会則による	第48回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会	3,000	7.7.8
5	安全運転管理者講習会手数料	一般社団法人静岡県安全運転管理協会	会則による	安全運転管理に関する啓発、広報	5,100	7.7.22
6	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会長	会則による	知的障害教育振興並びに会員の研修	5,000	7.7.31
計		6件			59,850	

# 建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
				円	円	円
1	教育管理費	静岡県立富士特別支援学校 加圧給水ポンプ更新工事	富士市大淵地内	3,300,000	3,245,000	66,000
2	教育管理費	静岡県立富士特別支援学校 電話設備更新工事	富士市大淵地内	3,190,000	3,069,000	0
3	教育管理費	静岡県立富士特別支援学校 職員室空調機更新工事	富士市大淵地内	1,980,000	1,925,000	55,000
		合 計	3件	8,470,000	8,239,000	121,000

(参考)

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
				円	円	円
1	教育管理費	富士特別支援学校プール サイド修繕他工事	富士市大淵地内	59,994,000	58,580,000	1,859,000
		合 計	1件	59,994,000	58,580,000	1,859,000

令和7年度該当なし

事

調

(令和6年度)

額	契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
計							
円 3,311,000	指名	(株)仲神設備	R6.10.24 R7.1.30	円 3,311,000	ポンプ室内の給水ポンプ故障による加圧給水ポンプの更新	—	令達年月日 R6.10.7 最終支払年月日 R7.2.28
3,069,000	指名	東亜通信システム(株)	R6.11.19 R7.2.18	3,069,000	電話交換機故障による更新	—	令達年月日 R6.6.26 最終支払年月日 R7.3.28
1,980,000	随契	(株)仲神設備	R7.1.7 R7.3.12	1,980,000	職員室空調機故障による更新 4台のうち西側2台	済	令達年月日 R6.12.12 最終支払年月日 R7.4.18 随契1号(少額)
8,360,000				8,360,000			

(令和6年度)

額	契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
計							
円 60,439,000	一般	明德建設(株)	R6.10.16 R7.3.12	円 60,439,000	プール、プールサイド防水塗装、フェンス一部取替、プール付属棟外壁補修、体育館屋根・外壁防水塗装、プール体育館渡り廊下塗装、電灯取替	—	本庁経理 建築管理局 建築工事課
60,439,000				60,439,000			

公 有 財 産 調

(本 校)

(令和 6 年度)

区 分	令和6年3月31日 現 在		増		減		令和7年3月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	
行政財産		千円 1,143,195		千円 1,801		千円 48,186		千円 1,096,810	
土 地	m <sup>2</sup> 19,096.54	542,887	0	0	0	0	m <sup>2</sup> 19,096.54	542,887	
立木竹	本 36	2,647	0	0	0	0	本 36	2,647	
建 物	m <sup>2</sup> 5,162.39 9,476.98	509,111	0	0	0	40,178	m <sup>2</sup> 5,162.39 9,476.98	468,933	
工作物	個 103	88,550	2	1,801	2	8,008	個 103	82,343	
公有財産 に準ずる もの		155		0		0		155	
電 話 加入権	件 2	155	0	0	0	0	件 2	155	

令和7年度中増減なし

(富士宮分校)

区 分	令和6年3月31日 現 在		増		減		令和7年3月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	
行政財産		千円 493,924		千円 0		千円 9,226		千円 484,698	
土 地	m <sup>2</sup> 5,043.26	329,973	0	0	0	0	m <sup>2</sup> 5,043.26	329,973	
建 物	m <sup>2</sup> 815.40 1,205.24	139,726	0	0	0	6,610	m <sup>2</sup> 815.40 1,205.24	133,116	
工作物	個 23	24,225	0	0	0	2,616	個 23	21,609	

令和7年度中増減なし

(富士東分校)

区 分	令和6年3月31日 現 在		増		減		令和7年3月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	
行政財産		千円 22,205		千円 0		千円 1,257		千円 20,948	
工作物	個 8	22,205	0	0	0	1,257	個 8	20,948	
公有財産 に準ずる もの		150		0		0		150	
電 話 加入権	件 2	150	0	0	0	0	件 2	150	

令和7年度中増減なし

## 借 地 借 家 等 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契 期 約 間	所有者又 は契約者 氏 名	用 途
				台 帳	現 況		単 価	年 額			
1	土地	学校 敷地	富士市大淵3472	畑	畑	m <sup>2</sup> 1,115.00	円 —	円 無償	R7.4.1 ～ R8.3.31	個人	学校農園
2	土地	学校 敷地	富士市三ツ沢 字片曾298-15 の一部	畑	畑	179.00	円 —	円 6,000	R6.4.1 ～ R9.3.31	個人	富士東分校 学校農園
計						1,294.00		6,000			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

区分	事業名又は契約名	内 容	契 約 額	(契約額の年度別内訳)						
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
長期継続契約	学校給食業務委託契約	学校給食業務 (契約日) 令和6年3月7日	41,292,636	円	円	円	円	円	円	円
	スクールバス運行管理業務委託契約	スクールバス運行管理業務 (契約日) 令和6年4月1日	15,404,400		5,134,800	5,134,800	5,134,800			
	高速カラー印刷機賃貸借契約	職員室高速カラー印刷機賃貸借 (契約日) 令和7年4月1日	1,617,000			323,400	323,400	323,400	323,400	323,400

# 行政財産貸付・使用許可調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	富士市大淵3773-1	学校敷地	学校敷地	支線1条	1,500	1,500 円	R 3. 4. 1 ～ R 8. 3. 31	NTT西日本(株)静岡支店長	電柱敷地
2	"	"	"	"	"	本柱3本 支線2条	"	7,500	R 4. 4. 1 ～ R 9. 3. 31	東京電力パワーグリッド(株)富士支社長	"
3	"	"	"	"	"	本柱1本 支線1条	"	3,000	R6. 4. 1 ～ R11. 3. 31	"	"
4	"	"	"	"	"	2.8m 2.59㎡	-	1,620	R 7. 4. 1 ～ R 8. 3. 31	富士市長	地下埋設物(上水道管)防護コンクリート
5	"	"	"	"	"	㎡ 9.88	-	免除	R 7. 4. 1 ～ R12. 3. 31	"	防災倉庫
6	建物	事務所建	"	北棟	RC造 2F建	0.11㎡	-	"	R 7. 4. 1 ～ R12. 3. 31	"	防災用無線施設
7	土地	学校敷地	富士宮市宮北町233	学校敷地	学校敷地	支線柱 1本 支線1条	1,500	3,000	R 3. 4. 1 ～ R 8. 3. 31	東京電力パワーグリッド(株)富士支社長	電柱敷地
8	"	"	"	"	"	本柱1本	"	1,500	R 3. 4. 1 ～ R 8. 3. 31	NTT西日本(株)静岡支店長	"
9	"	"	"	"	"	6.60㎡	-	免除	R 7. 4. 1 ～ R12. 3. 31	富士宮市琴平区長	防災倉庫
10	"	"	"	"	"	4.50㎡	-	"	R 7. 4. 1 ～ R 8. 3. 31	"	家庭廃棄物集積箱
11	"	"	"	"	"	0.25㎡	-	"	R 5. 4. 1 ～ R 8. 3. 31	富士土木事務所	道路灯
12	工作物	囲障	"	ネットフェンス	UNメッシュフェンス	2.73㎡	-	"	R 6. 9. 30 ～ R 6. 11. 25	富士宮市選挙管理委員会	衆議院議員総選挙ポスター掲示場
13	建物	事務所建	"	校舎	S造 2F建	266.91㎡	-	"	R 6. 10. 25 ～ R 6. 10. 27	"	衆議院議員総選挙投票所
14	工作物	囲障	"	ネットフェンス	UNメッシュフェンス	3.24㎡	-	"	R 7. 6. 7 ～ R 7. 7. 31	"	参議院議員通常選挙ポスター掲示場
15	建物	事務所建	"	校舎	S造 2F建	266.91㎡	-	"	R 7. 7. 18 ～ R 7. 7. 20	"	参議院議員通常選挙投票所
合計								18,120			

# 主要備品調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	2-1	レーザープリンター・スキャナ	インクジェットプリンター	教材作成用 毎日(年間200日)	平成31年2月	円 3,024,000
2	6-2	金属加工工作機器	旋盤	作業実習用 週1回(年間40日)	平成10年3月	2,551,500
3	10-99	その他の教育用器具	電気陶芸窯	陶芸授業用 週3回(年間120日)	平成24年3月	2,268,000
4	1-13	その他の厨房器具	真空冷却機	給食調理用 毎日(年間185日)	平成19年3月	2,047,500
5	1-13	加熱器具	スチームコンベクションオープン10段 インジェクション式	給食調理用 毎日(年間185日)	令和3年3月	1,903,000
6	1-13	加熱器具	スチームコンベクションオープン10段 インジェクション式	給食調理用 毎日(年間185日)	令和3年3月	1,903,000
7	2-1	パーソナルコンピュータ(一式)	県立学校ICT環境整備機器一式	情報教育等の授業用 毎日(年間200日)	令和2年1月	1,744,270
8	1-13	食品食器洗浄機	食品食器洗浄機	給食食器洗浄用 毎日(年間185日)	平成21年10月	1,554,000
9	2-1	パーソナルコンピュータ(一式)	県立学校ICT環境整備機器一式	情報教育等の授業用 毎日(年間200日)	令和2年1月	1,466,773
10	2-2	放送装置	放送装置 1系統(10局)	校内放送用 毎日(年間200日)	令和2年1月	1,391,500
11	10-99	その他の教育用器具	電気陶芸窯(引出式)	陶芸授業用 週2回(年間80日)	平成23年3月	1,365,000
12	2-1	パーソナルコンピュータ周辺機器	パーソナルコンピュータ周辺機器	授業における視聴覚教材及び情報教育用週4回(年間160日)	令和1年9月	1,261,516
13	10-99	その他の教育用器具	横きり盤	作業実習用 週2回(年間80日)	平成23年3月	1,156,000
14	1-99	その他の庁用器具	校旗	行事用 随時(年間12日)	平成3年3月	1,143,300
15	1-13	食品食器洗浄機	消毒保管庫 電気式 両面扉 5段	給食食器洗浄用 毎日(年間185日)	令和3年3月	1,100,000
16	1-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー 天吊型 5HP	教室用空調設備 夏季・冬季(年間80日)	平成29年8月	885,600
17	1-13	調理器具	調理器具 小型フードスライサー	給食調理用 毎日(年間185日)	平成21年3月	850,500
18	10-7	鍵盤楽器	電子型グランドピアノ	授業における視聴覚教材用週2回(年間80日)	平成16年3月	845,250
19	1-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー 天吊型 5HP	教室用空調設備 夏季・冬季(年間80日)	平成28年8月	842,400
20	1-7	製本機	コレータ(自動丁合機) ステープルパンチ付	教材及び資料作成用 週1回(年間40日)	令和5年3月	808,500

## 職 員 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	校長	高田 宗享		□□□	□ □	□□□□□□
2	副校長	稲葉 克枝		□□□	□ □	□□□□□□
3	教頭	山崎 美穂子		□□□	□ □	□□□□□□
4	事務長	望月 理恵	事務総括	□□□	□ □	□□□□□□
5	教諭	石田 政久	小4	□□□	□ □	□□□□□□
6	教諭	袴田 かおり	高1	□□□	□ □	□□□□□□
7	教諭	一杉 茂樹	小3・4	□□□	□ □	□□□□□□
8	教諭	伊賀 匡	中	□□□	□ □	□□□□□□
9	教諭	若月 浩和	高2	□□□	□ □	□□□□□□
10	教諭	高橋 次夫	高2	□□□	□ □	□□□□□□
11	教諭	田中 健一郎	高1	□□□	□ □	□□□□□□
12	教諭	宮永 千恵子	小2	□□□	□ □	□□□□□□
13	教諭	渡辺 あゆみ	小	□□□	□ □	□□□□□□
14	教諭	高橋 真理	小6	□□□	□ □	□□□□□□
15	教諭	岡田 治美	小1・2	□□□	□ □	□□□□□□
16	教諭	井上 ゆかり	小3・4	□□□	□ □	□□□□□□
17	教諭	滝 生世	中1	□□□	□ □	□□□□□□
18	教諭	横山 仁美	小	□□□	□ □	□□□□□□
19	教諭	望月 伸哉	高	□□□	□ □	□□□□□□
20	教諭	樽林 晴美	小	□□□	□ □	□□□□□□
21	教諭	岡部 公子	中	□□□	□ □	□□□□□□
22	教諭	門林 嘉樹	中	□□□	□ □	□□□□□□
23	教諭	有賀 一郎	小3	□□□	□ □	□□□□□□
24	教諭	青島 妙子	訪問	□□□	□ □	□□□□□□
25	教諭	秋山 好久	中3	□□□	□ □	□□□□□□
26	教諭	竹下 哲之	小学部主事	□□□	□ □	□□□□□□
27	教諭	伊藤 清子	小5・6	□□□	□ □	□□□□□□
28	教諭	渡辺 晴子	中学部主事	□□□	□ □	□□□□□□
29	教諭	佐藤 陽子	高1・2・3	□□□	□ □	□□□□□□
30	教諭	佐藤 みゆき	中1・2	□□□	□ □	□□□□□□
31	教諭	土屋 ふみ	高1	□□□	□ □	□□□□□□
32	教諭	中 玲子	中2	□□□	□ □	□□□□□□
33	教諭	宇佐美 知教	高1・2・3	□□□	□ □	□□□□□□
34	教諭	徳永 洋子	小1・2	□□□	□ □	□□□□□□
35	教諭	土屋 純子	小1・2	□□□	□ □	□□□□□□

## 職 員 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
36	教諭	林 有紀子	中1・2	□□□	□ □	□□□□□□
37	教諭	尾崎 あゆみ	小1	□□□	□ □	□□□□□□
38	教諭	堀 香寿美	高2	□□□	□ □	□□□□□□
39	教諭	小林 幸子	訪問	□□□	□ □	□□□□□□
40	教諭	鈴木 正彦	中3	□□□	□ □	□□□□□□
41	教諭	田中 康暁	高	□□□	□ □	□□□□□□
42	教諭	佐藤 絵里香	中3	□□□	□ □	□□□□□□
43	教諭	山田 三保子	小2	□□□	□ □	□□□□□□
44	教諭	奥田 君子	高1・2・3	□□□	□ □	□□□□□□
45	教諭	村井 恵里子	中1・2	□□□	□ □	□□□□□□
46	教諭	高梨 僚子	高2	□□□	□ □	□□□□□□
47	教諭	加藤 悠	中1	□□□	□ □	□□□□□□
48	教諭	松原 史門	中3	□□□	□ □	□□□□□□
49	教諭	盛田 美枝子	高3	□□□	□ □	□□□□□□
50	教諭	蛭川 友美	高等部主事	□□□	□ □	□□□□□□
51	教諭	渡邊 篤	高1	□□□	□ □	□□□□□□
52	教諭	山本 健太郎	中3	□□□	□ □	□□□□□□
53	教諭	渡邊 千晴	高3	□□□	□ □	□□□□□□
54	教諭	山内 英次	高1	□□□	□ □	□□□□□□
55	教諭	吉田 三四郎	高1・2・3	□□□	□ □	□□□□□□
56	教諭	田崎 真佐子	小3	□□□	□ □	□□□□□□
57	教諭	前田 千佳子	高2	□□□	□ □	□□□□□□
58	教諭	佐野 美帆	中3	□□□	□ □	□□□□□□
59	教諭	鈴木 友香	中1	□□□	□ □	□□□□□□
60	教諭	藤沢 英里子	中3	□□□	□ □	□□□□□□
61	教諭	高橋 宏樹	小5	□□□	□ □	□□□□□□
62	教諭	佐藤 理	中2	□□□	□ □	□□□□□□
63	教諭	木戸 美矢子	小5・6	□□□	□ □	□□□□□□
64	教諭	高橋 恵美子	小2	□□□	□ □	□□□□□□
65	教諭	長島 信之	中1	□□□	□ □	□□□□□□
66	教諭	大久保 彩	小1	□□□	□ □	□□□□□□
67	教諭	赤池 智美	小4	□□□	□ □	□□□□□□
68	教諭	岩谷 俊宏	高2	□□□	□ □	□□□□□□
69	教諭	佐藤 由佳	中3	□□□	□ □	□□□□□□
70	教諭	渡邊 祥子		□□□	□ □	□□□□□□

## 職 員 調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
71	教諭	杉山 香里	高3	□□□	□ □	□□□□□□
72	教諭	中村 徹	高3	□□□	□ □	□□□□□□
73	教諭	杉山 わかな	中3	□□□	□ □	□□□□□□
74	教諭	山本 佐智子	小4	□□□	□ □	□□□□□□
75	教諭	鈴木 靖代	中3	□□□	□ □	□□□□□□
76	教諭	太田 由貴	小2	□□□	□ □	□□□□□□
77	教諭	高柳 文乃	小3・4	□□□	□ □	□□□□□□
78	教諭	金森 雄一	高2	□□□	□ □	□□□□□□
79	教諭	鈴木 稔実	高1	□□□	□ □	□□□□□□
80	教諭	加藤 奈央	高1	□□□	□ □	□□□□□□
81	教諭	加藤 廣貴	小3	□□□	□ □	□□□□□□
82	教諭	小山 真琴	高1	□□□	□ □	□□□□□□
83	教諭	若林 穂高	小3・4	□□□	□ □	□□□□□□
84	教諭	倉澤 亜希	小1	□□□	□ □	□□□□□□
85	教諭	岩沢 みさと	中1	□□□	□ □	□□□□□□
86	教諭	飯野 ひかる	小4	□□□	□ □	□□□□□□
87	教諭	本田 真奈美	中2	□□□	□ □	□□□□□□
88	教諭	金井 あゆ美	小3・4	□□□	□ □	□□□□□□
89	教諭	戸澤 信弥	高3	□□□	□ □	□□□□□□
90	教諭	川口 愛実	△	□□□	□ □	□□□□□□
91	教諭	荒川 あさ子	△	□□□	□ □	□□□□□□
92	教諭	荻原 紗也佳	△	□□□	□ □	□□□□□□
93	教諭	藤井 優	△	□□□	□ □	□□□□□□
94	教諭	遠藤 準也	小4	□□□	□ □	□□□□□□
95	教諭	櫻井 輝	中2	□□□	□ □	□□□□□□
96	教諭	杉田 有希	△	□□□	□ □	□□□□□□
97	教諭	渡邊 智之	高2	□□□	□ □	□□□□□□
98	教諭	柿崎 亜由美	中1	□□□	□ □	□□□□□□
99	教諭	瀬戸 奈苗	小6	□□□	□ □	□□□□□□
100	教諭	藤野 綾香	小5	□□□	□ □	□□□□□□
101	教諭	北村 健	小6	□□□	□ □	□□□□□□
102	教諭	秋山 周佑	小1・2	□□□	□ □	□□□□□□
103	教諭	進士 沙季	△	□□□	□ □	□□□□□□
104	教諭	鈴木 身江子	高1	□□□	□ □	□□□□□□
105	教諭	阿形 麻衣	高3	□□□	□ □	□□□□□□

## 職 員 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
106	教諭	羽柴 由佳	小3	□□□	□ □	□□□□□□
107	教諭	杉浦 公枝	小1・2	□□□	□ □	□□□□□□
108	教諭	風岡 秀彰	高3	□□□	□ □	□□□□□□
109	教諭	古家 史大	高3	□□□	□ □	□□□□□□
110	教諭	豊田 茂稔	高2	□□□	□ □	□□□□□□
111	教諭	佐野 綾香	小1	□□□	□ □	□□□□□□
112	教諭	小林 大地	高1	□□□	□ □	□□□□□□
113	教諭	溝口 黎	中1・2	□□□	□ □	□□□□□□
114	教諭	後藤 亜季	小2	□□□	□ □	□□□□□□
115	教諭	鷺尾 来美	/	□□□	□ □	□□□□□□
116	教諭	松原 悠馬	高3	□□□	□ □	□□□□□□
117	教諭	砂川 茜	小1・2	□□□	□ □	□□□□□□
118	教諭	時田 憲人	高1	□□□	□ □	□□□□□□
119	教諭	宇田 樹	/	□□□	□ □	□□□□□□
120	教諭	カ一 智見	/	□□□	□ □	□□□□□□
121	教諭	小原澤 憲人	中1	□□□	□ □	□□□□□□
122	教諭	三村 徳優	小6	□□□	□ □	□□□□□□
123	教諭	日吉 隆太	高2	□□□	□ □	□□□□□□
124	教諭	山根 真弓	小4	□□□	□ □	□□□□□□
125	教諭	松永 智行	小5	□□□	□ □	□□□□□□
126	教諭	小林 まり	小3	□□□	□ □	□□□□□□
127	教諭	林 宗太郎	小5・6	□□□	□ □	□□□□□□
128	教諭	酒井 さつき	小2	□□□	□ □	□□□□□□
129	教諭	駒野 良太	小2	□□□	□ □	□□□□□□
130	教諭	後藤 朋香	小4	□□□	□ □	□□□□□□
131	教諭	太田 力斗	小1	□□□	□ □	□□□□□□
132	教諭	宮城島 ありさ	小3	□□□	□ □	□□□□□□
133	教諭	藤原 友美佳	/	□□□	□ □	□□□□□□
134	教諭	竹川 光里	高2	□□□	□ □	□□□□□□
135	教諭	鈴木 瞭太郎	中2	□□□	□ □	□□□□□□
136	教諭	渡邊 大賀	高3	□□□	□ □	□□□□□□
137	教諭	池谷 亮子	/	□□□	□ □	□□□□□□
138	教諭	丸山 亜咲美	小6	□□□	□ □	□□□□□□
139	教諭	山本 春菜	小1	□□□	□ □	□□□□□□
140	教諭	山本 駿	小6	□□□	□ □	□□□□□□

# 職 員 調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
141	教諭	佐野 百花	/	□□□	□ □	□□□□□□
142	教諭	宮本 遼	中1	□□□	□ □	□□□□□□
143	教諭	森下 智尋	小3	□□□	□ □	□□□□□□
144	教諭	植松 雛子	中3	□□□	□ □	□□□□□□
145	教諭	笹原 亜美	小5	□□□	□ □	□□□□□□
146	教諭	佐野 琴乃	小2	□□□	□ □	□□□□□□
147	教諭	宮崎 礼生	中3	□□□	□ □	□□□□□□
148	教諭	室伏 真依	小3	□□□	□ □	□□□□□□
149	教諭	渡井 万智	高3	□□□	□ □	□□□□□□
150	教諭	望月 わか菜	中2	□□□	□ □	□□□□□□
151	教諭	三浦 理瑚	小5	□□□	□ □	□□□□□□
152	教諭	源平 唯加	小5・6	□□□	□ □	□□□□□□
153	教諭	酒井 優歌	小3	□□□	□ □	□□□□□□
154	教諭	莊林 杏奈	小1	□□□	□ □	□□□□□□
155	養護教諭	金森 美幸	保健衛生	□□□	□ □	□□□□□□
156	養護教諭	長谷川 千晃	保健衛生	□□□	□ □	□□□□□□
157	栄養教諭	眞田 麻貴	給食	□□□	□ □	□□□□□□
158	主査	山田 奈々	会計・管財	□□□	□ □	□□□□□□
159	主任	後藤 悠	会計	□□□	□ □	□□□□□□
160	主事	鈴木 萌花	就学奨励費	□□□	□ □	□□□□□□
平均年数					□年 □月	

## 付記

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	教諭(任)	佐野 真紀	小5	□□□	□ □	□□□□□□
2	教諭(任)	細井 千秋	高3	□□□	□ □	□□□□□□
3	教諭(任)	羽山 佐由美	小3・4	□□□	□ □	□□□□□□
4	教諭(任)	千田 裕子	小1	□□□	□ □	□□□□□□
5	教諭(任)	遠藤 真美	小5	□□□	□ □	□□□□□□
6	教諭(任)	平見 希	中3	□□□	□ □	□□□□□□
7	教諭(任)	早野 忍	中2	□□□	□ □	□□□□□□
8	教諭(任)	田中 正恵	高1	□□□	□ □	□□□□□□
9	教諭(任)	石黒 友香	高2	□□□	□ □	□□□□□□
10	教諭(任)	稲葉 香織	高1	□□□	□ □	□□□□□□
11	教諭(任)	稲葉 千晶	高3	□□□	□ □	□□□□□□
12	教諭(任)	露木 玲衣奈	小5	□□□	□ □	□□□□□□
13	教諭(任)	辻野 俊一	高1	□□□	□ □	□□□□□□
14	教諭(臨)	長谷川 たか子	小6	□□□	□ □	□□□□□□
15	教諭(臨)	屋比久 美由紀	小1	□□□	□ □	□□□□□□
16	教諭(臨)	新川 美鈴	小3	□□□	□ □	□□□□□□
17	教諭(臨)	大平 純子	小6	□□□	□ □	□□□□□□
18	教諭(臨)	大石 雅人	中2	□□□	□ □	□□□□□□
19	教諭(臨)	相川 久美	高2	□□□	□ □	□□□□□□
20	教諭(臨)	杉井 紗理	中2	□□□	□ □	□□□□□□
21	教諭(臨)	仁木 祥子	高2	□□□	□ □	□□□□□□
22	教諭(臨)	飯田 葉摘	高1	□□□	□ □	□□□□□□
23	実習支援指導員	土屋 由美子	実習支援指導	□□□	□ □	□□□□□□
24	医療的ケア看護職員	佐藤 雅子	看護師	□□□	□ □	□□□□□□
25	医療的ケア看護職員	長井 富美子	看護師	□□□	□ □	□□□□□□
26	医療的ケア看護職員	高田 千恵子	看護師	□□□	□ □	□□□□□□
27	医療的ケア看護職員	青木 裕子	看護師	□□□	□ □	□□□□□□
28	医療的ケア看護職員	内藤 利恵	看護師	□□□	□ □	□□□□□□
29	医療的ケア看護職員	川崎 義和	看護師	□□□	□ □	□□□□□□
30	非常勤講師	諏訪部 絵美	非常勤講師	□□□	□ □	□□□□□□
31	非常勤嘱託員	田村 葉子	実習支援	□□□	□ □	□□□□□□
32	非常勤嘱託員	桑原 翔平	実習支援	□□□	□ □	□□□□□□
33	非常勤嘱託員	市川 稜人	実習支援	□□□	□ □	□□□□□□
34	非常勤嘱託員	山本 由起子	事務補助	□□□	□ □	□□□□□□
35	非常勤嘱託員	市川 寿	事務補助	□□□	□ □	□□□□□□
36	非常勤労務職員	岡本 知恵美	校内介助	□□□	□ □	□□□□□□

付記

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
37	非常勤労務職員	明田 知保里	校内介助	□□□	□ □	□□□□□□
38	非常勤労務職員	宮澤 誠二	バス介助	□□□	□ □	□□□□□□
39	非常勤労務職員	鈴木 百合子	バス介助	□□□	□ □	□□□□□□
40	非常勤労務職員	本多 明子	バス介助	□□□	□ □	□□□□□□
41	非常勤労務職員	杉山 潔乃	バス介助	□□□	□ □	□□□□□□
42	非常勤労務職員	上杉 富士子	バス介助	□□□	□ □	□□□□□□
43	非常勤労務職員	内田 光恵	バス介助	□□□	□ □	□□□□□□
44	非常勤労務職員	大澤 一仁	バス介助	□□□	□ □	□□□□□□
45	非常勤労務職員	前島 衛夫	用務	□□□	□ □	□□□□□□
46	非常勤労務職員	渡邊 泉	用務	□□□	□ □	□□□□□□
47	スクールカウンセラー	石川 誠	スクールカウンセラー	□□□	□ □	□□□□□□
48	健康管理医	矢崎 基紘	内科	□□□	□ □	□□□□□□
49	校医	川上 正人	内科	□□□	□ □	□□□□□□
50	〃	阿部 素郎	眼科	□□□	□ □	□□□□□□
51	〃	渡邊 高弘	耳鼻科	□□□	□ □	□□□□□□
52	〃	小野 恒光	歯科	□□□	□ □	□□□□□□
53	薬剤師	石田 浩史	薬剤師	□□□	□ □	□□□□□□

## 職 員 調 (富士宮分校)

(令和7年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	教頭	若松 唯晃		□□□	□ □	□□□□□□
2	教諭	渡邊 康子	高2	□□□	□ □	□□□□□□
3	教諭	村松 友余	高3	□□□	□ □	□□□□□□
4	教諭	伊藤 雅隆	高3	□□□	□ □	□□□□□□
5	教諭	松尾 佳代	高1	□□□	□ □	□□□□□□
6	教諭	土屋 和洋	高	□□□	□ □	□□□□□□
7	教諭	田中 善明	高1	□□□	□ □	□□□□□□
8	教諭	遠藤 あゆみ	高3	□□□	□ □	□□□□□□
9	教諭	岩谷 麻衣子	高3	□□□	□ □	□□□□□□
10	教諭	村松 昇	高等部主事	□□□	□ □	□□□□□□
11	教諭	森 華奈	高1	□□□	□ □	□□□□□□
12	教諭	遠藤 純基	高3	□□□	□ □	□□□□□□
13	教諭	勝村 早由希	高1	□□□	□ □	□□□□□□
14	教諭	大河原 明希子	高2	□□□	□ □	□□□□□□
15	教諭	後藤 大河	高1	□□□	□ □	□□□□□□
16	教諭	山田 裕亮	高2	□□□	□ □	□□□□□□
17	教諭	佐野 李奈	高2	□□□	□ □	□□□□□□
18	教諭	相磯 早希	高2	□□□	□ □	□□□□□□
19	教諭	金岡 涼	高2	□□□	□ □	□□□□□□
20	養護教諭	川村 恭子	保健衛生	□□□	□ □	□□□□□□
21	主任	山本 彩乃	給与	□□□	□ □	□□□□□□
平均年数					□年 □月	

### 付記

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	教諭(臨)	海野 優子	高2	□□□	□ □	□□□□□□
2	非常勤労務職員	田邊 享子	用務	□□□	□ □	□□□□□□
3	健康管理医	北川 安男	内科	□□□	□ □	□□□□□□
4	校医	戸塚 盛計	内科	□□□	□ □	□□□□□□
5	〃	天神 光充	眼科	□□□	□ □	□□□□□□
6	〃	鈴木 高広	耳鼻科	□□□	□ □	□□□□□□
7	〃	森本 達也	歯科	□□□	□ □	□□□□□□
8	薬剤師	渡辺 恭秀	薬剤師	□□□	□ □	□□□□□□

## 職 員 調 (富士東分校)

(令和7年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	副校長	鈴木 耕輔		□□□	□ □	□□□□□□
2	教諭	ニムブラサート 滋美	高3	□□□	□ □	□□□□□□
3	教諭	浦 れい	高2	□□□	□ □	□□□□□□
4	教諭	羽田 和美	高	□□□	□ □	□□□□□□
5	教諭	仁藤 正訓	高1	□□□	□ □	□□□□□□
6	教諭	杉澤 陵太	高等部主事	□□□	□ □	□□□□□□
7	教諭	栗田 雅央	高1	□□□	□ □	□□□□□□
8	教諭	清 浩樹	高3	□□□	□ □	□□□□□□
9	教諭	望月 早	高1	□□□	□ □	□□□□□□
10	教諭	長田 翔太	高3	□□□	□ □	□□□□□□
11	教諭	大河原 浩信	高2	□□□	□ □	□□□□□□
12	教諭	風岡 奏	高3	□□□	□ □	□□□□□□
13	教諭	中井 春花	高2	□□□	□ □	□□□□□□
14	教諭	長谷川 葉月	高1	□□□	□ □	□□□□□□
15	養護教諭	加藤 栄里	保健衛生	□□□	□ □	□□□□□□
16	主査	佐野 百織	会計	□□□	□ □	□□□□□□
平均年数					□年 □月	

### 付記

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	教諭(臨)	大塚 知恵	高3	□□□	□ □	□□□□□□
2	教諭(臨)	今村 優友	高1	□□□	□ □	□□□□□□
3	非常勤労務職員	遠藤 多麻樹	用務	□□□	□ □	□□□□□□
4	健康管理医	土屋 厚子	内科	□□□	□ □	□□□□□□
5	校医	清水 千枝	内科	□□□	□ □	□□□□□□
6	〃	小森 雅彦	眼科	□□□	□ □	□□□□□□
7	〃	長谷川 剛	耳鼻科	□□□	□ □	□□□□□□
8	〃	齋藤 充良	歯科	□□□	□ □	□□□□□□
9	薬剤師	廣瀬 広一朗	薬剤師	□□□	□ □	□□□□□□

## 職員の年齢調

(令和7年7月31日現在)

年 齢	人 員				摘 要
	本校	富士宮分校	富士東分校	合 計	
20歳未満	0人	0人	0人	0人	
20歳以上30歳未満	23人	1人	2人	26人	
30歳以上40歳未満	57人	8人	6人	71人	
40歳以上50歳未満	37人	9人	6人	52人	
50歳以上56歳未満	21人	2人	0人	23人	
56歳以上61歳未満	14人	1人	2人	17人	
61歳以上	8人	0人	0人	8人	
計	160人	21人	16人	197人	本校：再任用7人

平均年齢	41.8歳	41.6歳	42.0歳
------	-------	-------	-------

# 健 康 管 理

## 1 6年度受診状況

区 分	内 容	本校	富士宮 分校	富士東 分校
受 診 状 況	受 診 者 数	162人	23人	10人
	職 員 数	165人	23人	10人
受 診 率	100.0 %			
県平均受診率	100.0 %			

(1) 未受診の理由 (本校)

3 人

## 2 7年度在籍者の健康管理区分結果

健康管理区分		人数		
		本校	富士宮 分校	富士東 分校
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。			
B1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療		
B2		要経過観察		
C1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療		
C2		要経過観察	1人 (1人)	
D1	平常の勤務でよい。	要治療	30人 (30人)	3人 (4人)
D2		要経過観察	49人 (49人)	6人 (3人)
D3		医療不要	73人 (73人)	12人 (8人)
区 分 者 計			153人 (153人)	21人 (15人)
未区分者数			7人 (7人)	0人 (1人)
合 計			160人 (160人)	21人 (16人)

(1) 管理区分A～C2該当者

に対する措置状況

C2：面談し、状況を確認済

(2) 未区分の理由 (本校)

ア

3 人

イ

4 人

ウ

人

エ

人

未区分の理由 (富士宮分校)

ア

人

イ

人

ウ

人

エ

人

未区分の理由 (富士東分校)

ア

1 人

イ

人

ウ

人

エ

人